祈りの回廊

2020年10月
～2021年3月
秋冬版

健やかならんことを
疫病平癒を祈る

それは祈りへのみちすじ
SNSは、もうひとつの参道

あっちこっち石めぐり

［特別講話］東大寺・墨坂神社
奈良大和路の「秘宝・秘仏特別開帳」

健やかならんことを 疫病平癒を祈る

構成・文・イラスト／ココトソコノ制作室

新

型コロナウイルス感染症が世界中に大きな影響を与えています。これまで当たり前だったことがそうでなくなり、そのまた逆も然り。不慣れな生活に困惑する日々ですが、「病の流行による社会の変化」は、歴史上多くの地で繰り返し起こってきました。

古代の日本も例外ではありません。人々は疫病とどう向き合ったのか。それは、現在に伝わる歴史書や社寺の由緒、さまざまな出土品などから垣間見ることができます。

例えば『古事記』『日本書紀』に疫病が登場するのは、崇神天皇の時代。『日本書紀』では「5年に、国内に疾病多く、民死亡者有りて、且大半ぎなむとす」と記され、崇神天皇5年に、国の人口が半減するほどに疫病が蔓延したことが読み取れます。この惨状に際し、疫病平癒を願った崇神天皇は、神様の祀り方を考え、占いをし、夢の中で聞いたお告げを実行するなど、必死で手を打ったのでした。

夢のお告げに従い 崇神天皇が成した 疫病平癒への道のり

1. 宮殿に二柱の神を祀る。しかし二柱の神の力がどちらもあまりに強く、別々に祀ることに
2. 占いをしてみると、とある神様が倭迹迹日百襲姫命に乗り移って「自分を祀ったら疫病がおさまる」と告げる
3. その通りにする。しかし疫病は収まらず
4. 夢に大物主神が出てきて「私の息子の大田田根子に祀らせたら治まるだろう」と告げる
5. 大田田根子を見つける。再度占いをすると「他の神々も祀れ」と出る
6. 大田田根子が大物主神を祀る。同時に他の神々も祀ったところ、疫病が収まった

疫病の終息を望む心は今も昔も変わらない願い

大和神社（おおやまとじんじゃ）

崇神天皇の代まで天照大神と共に宮中に祀られていた日本大国魂大神を祭神とする古社。

天理市新泉町 306
0743-66-0044
MAP P19 E a-1

大直禰子神社（おおたたねこじんじゃ）

元は大神神社の神宮寺である大御輪寺。現在は大神神社の摂社「若宮さん」として知られる。

桜井市三輪字若宮
0744-42-6633（大神神社社務所）
MAP P19 E a-2

大坂山口神社（逢坂）（おおさかやまぐちじんじゃ おうさか）

令和２（2020）年5月、墨坂神社とともに病気平癒の祭祀を行い、拝殿に黒盾を納める。なお同名の神社が同市穴虫にもある。

香芝市逢坂 5-831
0745-77-1700（二上山博物館）
MAP P20 G a-1

墨坂神社（すみさかじんじゃ）

疫病鎮圧のため創建され「赤盾八枚・赤矛八竿をもって墨坂の神を祀り」と記紀に記される。

宇陀市榛原萩原 703
0745-82-0114
MAP P21 I b-1

神

代から大物主神を祀る桜井市の大神神社で、大物主神の子・大田田根子を祭主とした祭祀が行われるようになったのは、この疫病からです。

その他にも疫病平癒神話ゆかりの地が伝わっています。大田田根子を祀る大神神社摂社の若宮社・大直禰子神社。崇神天皇によって、宮中内に天照大神と倭大國魂神がともに奉斎（※①）されているのは恐れ多いとして別々に祀ることとし、以来、倭大國魂神が祀られているのが大和神社。また『古事記』に「墨坂神に赤色の盾矛を祀れ、大坂の神に黒色の盾矛を祀れ」という内容の疫病平癒に関する記述（※②）があり、赤色の盾矛が祀られたのは墨坂神社、黒色は大坂山口神社だと推定されています。

医学等の知見が格段に少ない古代において、祈ることは疫病との真剣な闘いです。奈良の社寺には、記紀（※③）に綴られるほど古来から行われてきた疫病平癒の祭祀があり、現代に伝えられています。一日でも早く疫病の流行を終息させ、人々が健康で快活な生活を再開できるようにと願う切実な気持ちは普遍なのでしょう。

※①神仏をつつしんで祀ること。
※②『日本書紀』では『古事記』と異なり、疫病平癒後に行われたと記される。
※③『古事記』と『日本書紀』の総称。

大神神社（おおみわじんじゃ）

本殿を設けず、祭神の大物主大神が鎮まる三輪山を拝するという原初の神祀りの様を伝える日本最古の神社のひとつ。

桜井市三輪 1422
0744-42-6633
MAP P19 E a-2

奈良時代の疫病の流行と発掘から垣間見る 元祖「新しい生活様式」

華

やかな印象の天平時代は、疫病の時代でもありました。天平7（735）年の疫病は太宰府で発生、致死率が国民の25％に至る事態。天平9（737）年には都でも感染が広まり、藤原不比等の息子である藤原四兄弟の相次ぐ死など政治の中枢を直撃、国は機能不全に陥ります。恐らく天然痘と見られるこの疫病に加えて天災や内乱にも見舞われ、聖武天皇は遷都を繰り返しました。その中で「新しい生活様式」とでも呼ぶべき習慣も生まれます。

奈良文化財研究所の神野恵氏によると、「出土する皿のサイズが奈良時代後半になると大型食器が減り、小型食器中心になります。これは感染予防のために大皿での盛り付けを避けたと考えられます。また平城京で朱雀大路に次ぐメインストリートである二条大路の路肩にあたる場所から、ほぼ完全な状態の大量の食器が出土しています。当時は消毒などができず、感染防止のために使用済みの食器をまとめて廃棄したものだと思われます（写真①）。今回の新型コロナウイルスが引き起こした社会状況を目の当たりにして、ようやく説明がつきました。」

写真①（上）／二条大路濠状土坑から出土した食器
写真②（下）／平城京で出土した土馬
（写真提供／奈良文化財研究所）

ほかにも疫病対策として、読経や祈祷、租税の免除、湯薬の支給などの施策が講じられました。高齢者や困窮者などに対して朝廷が米や布などを支給する「賑給」も行われています。

疫病に関わる出土品はさまざまです。「土馬」（写真②）は、疫病神の乗り物とも言われ、疫病が拡散しないようにわざと足をこわして水に流すなどとした説もあります。「人面墨書土器」（写真③）も、器に墨で疫病神や鬼の顔を描き、息を吹き込んで水に流すという風習でした。平城京でもたくさん出土しており、疫病神を追い出そうとしたと考えられています。また、外部から入ってくる疫病を防ぐための祭祀「道饗祭」は、平城京羅城門の少し東にある路上で行っていたことが発掘により判明しています。いわば古代の感染予防法だったのでしょう。

写真③ どうにも憎めない表情の人面墨書土器（写真提供／奈良文化財研究所）

国営平城宮跡歴史公園 平城宮いざない館

平城宮跡の出土品や資料を展示。人面墨書土器や土馬も陳列。

奈良市二条大路南 3-5-1
0742-36-8780
MAP P18 A b-2

奈良文化財研究所 藤原宮跡資料室

飛鳥・藤原地域に残る遺跡の出土品を展示。土馬も陳列。

橿原市木之本町 94-1
0744-24-1122
MAP P19 D a-1

今につながる行事

奈

良時代以前、藤原京の時代にも疫病が流行。当時すでに疫病除けとして行われていた祭祀が現在も行われています。『続日本紀』に記される追儺会は現在の節分の行事につながっており、この頃に始まったと記されています。大神神社と狭井神社の鎮花祭、率川神社の三枝祭はともに国家の祭祀として「大宝律令」で規定されていました。

率川神社「三枝祭」の様子

率川神社の「三枝祭」

毎年6月17日に行われる疫病除けの祭典。巫女がササユリの花を手に舞う神楽がことのほか美しい。

奈良市本子守町 18
0742-22-0832
MAP P18 A c-2

奈良の薬で病に抗え

推

古天皇19（611）年5月5日に現在の宇陀市で薬狩りを行った記述が『日本書紀』にあります。日本初の薬草採取の公式記録であり、宇陀はわが国の薬の発祥地と言えるでしょう。奈良にルーツを持つ製薬会社が多くあるのもそのためです。

修験道の祖・役行者には、疫病に苦しむ人々のために吉祥草寺に大釜を据え、陀羅尼助を施薬したという伝承があります。医学を学問として学ぶ道場としての側面を持つ当麻寺中之坊には、陀羅尼助を作っていた釜が残ります。全国から薬草を買い求め、疫病に苦しむ人々を救おうとした光明皇后は、聖武天皇が崩御した後に、60種類の薬と、その薬名や数量などを記録した『種々薬帳』を東大寺に献納しました。奈良の社寺と薬の関わりから、疾病と対峙してきた歴史が伝わります。

写真（左）／『種々薬帳』
写真（上）／『種々薬帳』に記されている薬物「大黄」。薬帳、大黄共に正倉院宝物として残るもの

吉祥草寺

役行者の出生地と伝わる。毎年1月14日の「茅原の大とんど」でも有名。

御所市茅原279
0745-62-3472
MAP P20 G b-2

疫病退散と奈良大和四寺巡礼

崇

面観音の形を与えご本尊とした長谷寺。空海が唐より持ち帰った厄災を除き願いが叶うと伝わる如意宝珠が埋蔵される室生寺。鍾馗図（※④）を疫病除け札として本尊の厄除のご加護と合わせて人々から恐怖を払拭した岡寺。呪詛占術により疫神を鎮めて文殊の化身と崇められた安倍晴明の生誕地とされる安倍文殊院。疫病の恐怖から人心を加護した歴史をもつ四寺を巡る『奈良大和四寺巡礼』は、巡礼衣（無料）にご朱印（各寺院300円）をいただき、祈願して護摩木を奉納（先着1万名）するというもので、満願のおりに「如意宝珠の満願朱印」を頂戴することができます。

※④　悪疫除けとして祀られる図。岡寺には『鍾馗の版木』および『悪疫除け祈祷札の版木』が江戸時代から残されている

安倍文殊院

創建は大化元（645）年。本尊は快慶作で高さ約7メートルの騎獅文殊菩薩像（国宝）。

桜井市阿部 645
0744-43-0002
MAP P19 E a-2

岡寺

日本最初の厄除け霊場で知られる。本尊は日本最大の塑像・如意輪観世音菩薩像（重文）。

高市郡明日香村岡 806
0744-54-2007
MAP P19 D b-2

室生寺

別名・女人高野。中尊は釈迦如来立像、漣波式と呼ばれる衣紋が非常に特徴的（国宝）。

宇陀市室生 78
0745-93-2003
MAP P21 I d-1

長谷寺

真言宗豊山派の総本山で、花の御寺としても名高い。本尊は十一面観世音菩薩立像（重文）。

桜井市初瀬 731-1
0744-47-7001
MAP P21 I a-1

それは祈りへのみちすじ

SNSは、もうひとつの参道

＃祈りの回廊　＃巡る奈良　＃奈良　＃奈良県　＃奈良旅

新型コロナウイルス感染症の流行で、お出かけのハードルが高くなった 2020 年。家で過ごす時間が増えた私たちの生活を支えたもののひとつは、SNS でした。粛々と行われる行事や季節の花の情報など、奈良の社寺から届く写真や言葉に、心を慰められた方は多いのではないでしょうか。

そこで今回、SNS で発信を行う奈良県内にある5つの社寺にお話を伺いました。一人ひとりの「あなた」へ向けて送られるメッセージ。そこには、穏やかな日常の回復への願いと、いつかまた奈良を訪れる「あなた」が奈良という祈りの地で豊かな時間を過ごせますようにとの真心が込められています。

春日大社

@KASUGASHRINE
Kasugataishashrine

宮司
花山院弘匡氏

奈良市春日野町 160
0742-22-7788
MAP P18 A d-2

当社の SNS 活用を提案したのは私です。二人の若手録事に発信を任せるようになって 1 年が経過しました。例えば神山である御蓋山（みかさやま）に水蒸気が昇る様子を見たとき、私だと「ご神気を感じる」と伝えるのですが、彼らは「もくもく」と表現するのです。驚きましたが、それはとても素直な言葉で、だからこそ心に響くこともあるのですね。と同時に、彼らは「御蓋山頂上に武甕槌命（タケミカヅチノミコト）様が白鹿の背に乗って降りたたれた」という話を紹介し、信仰心や歴史、文化を大切にした伝え方もしてくれています。こうした等身大であり、敬意を払った発信が積み重なることで、春日大社を参拝してくださる層が広がっています。彼ら以外の職員も「SNS に投稿する良い題材はないか?」と境内をより観察するようになり、職員間のコミュニケーションの機会が増えました。春日大社の清々しい風景、かわいらしい風景、珍しい風景を、離れたところにおいでの皆さんにもご覧いただき、いつか奈良を訪れようと思っていただけたら嬉しいですね。今は、奈良に行きたいけれど行くことが叶わないという方もおいででしょう。そういう時、SNS を通して「隣にある春日大社」というように、身近な存在に感じていただけると良いなと思っています。SNS は、さまざまな人をつなぐ、誰もが当たり前に使うツールになっていると感じています。

“ 敬意を忘れず素直な言葉で
奈良らしさをお伝えしたい ”

吉野神宮

yoshino_jingu
@yoshinojingu

宮司
東輝明氏

吉野郡吉野町大字吉野山 3226
0746-32-3088
MAP P20 H c-2

吉野に来られた方に当社に立ち寄っていただくきっかけになればとSNSを開設しました。皆で協力しながら試行錯誤中です。当社からの美しい月夜など、日頃、目にしていただくのが難しい光景もお届けしながら、いつの日かご参拝くださった方の心の拠り所に、また、思い出の地となれるようにと願っています。

當麻寺中之坊

taimadera_nakanobo
@taima_dera

院主
松村實昭師

葛城市當麻 1263 中之坊
0745-48-2001
MAP P20 G a-1

SNSを始めて10年。行事のお知らせ、日々のちょっとした出来事などを「當麻寺をより好きになってくれたらいいな」という気持ちでお伝えしています。1400年の歴史を背負っていることを忘れず、参拝者の皆様に親しんでいただけるように、そして仏様やご先祖様に失礼がないようにということを大切にしています。

長谷寺

hase_dera
narahasedera

教務部主事
瀧口光記師

桜井市初瀬 731-1
0744-47-7001
MAP P21 I a-1

長谷寺の観音様は相手の気持ちに寄り添ってくださる慈悲の仏様です。境内で大切に花を育てることも、SNSでの発信も、その教えを体現する方法のひとつとして大切にしています。投稿へのいいねやコメントを通して、皆様とコミュニケーションを図り、楽しんでもらえるように心がけながら、今後も真摯に取り組んで参ります。

般若寺

hannyaji_temple
@kosumosudera

副住職
工藤顕任師

奈良市般若寺町 221
0742-22-6287
MAP P18 A d-1

「境内でこんな風景が撮れるのか」という発見をしたら、積極的にSNSに投稿しています。カメラを持った方から「あの写真はどこで撮影したものですか？」と尋ねられるのはとても嬉しいですね。SNSをきっかけに般若寺を身近に感じてくださる方、ご参拝くださる方が増えました。大変ありがたいことです。

巡礼・石の仏さま

昔の人々が思いを込めて造った石仏の佇まいは、現代の人々の心にも訴えかけるものがあります。さまざまな石仏に出会える小さな歩く旅へ。

旧柳生街道に佇む六地蔵摩崖仏。近くにある「ほうそう地蔵」の案内板が目印

柳生の「六地蔵」

墓地の入り口や辻など、ある種の結界に立つことが多い六地蔵。柳生地区には、芳徳禅寺の墓所にある屋根付きのもの、もとは橋のたもとにあったという上部が三角になったもの、旧柳生街道に面する磨崖仏など複数の一石六地蔵石仏が残されています。

奈良市柳生町
0742-94-0002（柳生観光協会）
MAP P18 B b-2

貝吹き地蔵

鳴川渓谷の「清滝石仏群」

四角い彫りこみに彫られた「貝吹き地蔵」や行儀よく並ぶ「五尊仏」など、渓谷の両岸に彫られた石仏群は鎌倉〜江戸期のもの。川には村に伝染病などが入り込まないようにとの祈りを込めた勧請縄が昔から渡されており、毎年大晦日に掛け替えられます。

生駒群平群町鳴川
0745-45-1017（平群町観光産業課）
MAP P19 C b-1

首切地蔵

滝坂の道の「首切地蔵」などの石仏

石畳が美しい「滝坂の道」。時を超え朝夕の人々の往来を想起させる「朝日観音」「夕日観音」、荒木又右衛門が試し切りしたと伝わる「首切地蔵」、東西ふたつの洞窟に18体の石仏が彫られた「春日山石窟仏」など柳生へと続く山間の道は、多くの石仏に見守られています。

奈良市春日野町周辺
0742-22-0375（奈良公園事務所）
MAP P18 B a-2

神話と巨石を訪ねてみる

『古事記』や『日本書紀』に記された神話と、そのゆかりの地とされる社でご神体として崇められてきた巨石。存在感たっぷりです。

香久山の麓、拝殿奥に岩が祀られている

天岩戸神社の「巨石」

『古事記』『日本書紀』に記される天岩戸神話。天岩戸神社は天照大御神が隠れた天岩戸だとされる巨石がご神体です。巨石は「毎年新しい竹が7本育つ代わりに別の7本が枯れる」という「七本竹の不思議」が言い伝えられる竹林に囲まれています。

橿原市南浦町772
0744-20-1123（橿原市観光協会）
MAP P19 B a-1

南に流れる吉野川に面して建つ社殿と巨岩

岩神神社の「巨石」

神武東征の際に、岩を押し分けて出てきた神・岩穂押開神（イワホオシワクノカミ）を祭神と伝える岩神神社。『古事記』では「吉野の国巣（くず）の祖」、『日本書紀』では「吉野の国樔（くず）部の始祖」とされます。社殿に覆いかぶさるように突き出た巨岩をご神体としています。

吉野郡吉野町大字矢治1
0746-34-2522（吉野ビジターズビューロー）
MAP P20 H d-2

あっちこっち石めぐり

「じっくり、のびのびと過ごす」ということは貴重な体験なのだと再認識するようになった現在。奈良の地にどっしりと構える石のある風景を訪ねてみるのはいかがでしょう。物言わぬ石たちの、思いがけず豊かな表情に出合えます。

薬師寺の「仏足石」 国宝

薬師寺大講堂の一画に祀られている仏足石。側面に「天平勝宝五年」と刻まれた、現存する最古の仏足石です。お釈迦様が入滅して数百年間は、尊い姿を仏像として形にすることはなく、その足跡を刻んだ仏足石など、お釈迦様をモチーフとしたものが崇拝の対象となりました。

奈良市西ノ京町457
0742-33-6001
MAP P18 A a-2

写真／薬師寺

写真／（株）飛鳥園

薬師寺の仏足石は、天平勝宝4（752）年に、天武天皇の孫・文室真人智努（ふんやのまひとちぬ）が、夫人の冥福を祈り造らせたと伝わる

花崗岩で築造されている。龕前に置かれているのは死者の身骨や棺を安置するための引導石

十輪院の「石仏龕（がん）」 重文

石でできた厨子（ずし）「龕（がん）」に、浮き彫りされた本尊・地蔵菩薩と、釈迦如来、弥勒菩薩が納められ、さらに、仁王、聖観音などが地蔵菩薩の周りに巡らされた珍しい石仏。極楽往生を願う地蔵世界が表されており、龕の上部等に北斗七星などの星座が梵字で刻まれています。

奈良市十輪院町27
0742-26-6635
MAP P18 A c-2

狛犬の台座をグッと支える力士。それぞれ表情や体勢に個性がある

十二柱神社の「狛犬」

神世七代と地神五代の神、合わせて十二柱の神々を祀る十二柱神社。神社には、『日本書紀』に登場する日本で最初の天覧相撲で勝利した野見宿禰（ノミノスクネ）の五輪塔があります。同社境内には台座の四方を力士が支える珍しい狛犬が鎮座しています。

桜井市大字出雲650
0744-42-9111（桜井市観光まちづくり課）
MAP P21 I a-1

写真上／4体あるうち3体は裏にも顔がある猿石 **写真右**／以前は東向き、現在は南西向きで、「西を向くと奈良は泥の海になる」との伝説がある亀石

明日香村の「石造物」

明日香村は石造物の宝庫です。亀石、猿石、酒船石（さかふねいし）遺跡、亀形石造物、鬼の俎（まないた）など、用途や目的が判明していない謎の存在が多く、また個性豊かでユーモラスな造形もあいまって、長らく明日香村を訪れる人々の興味を惹き続けています。石舞台古墳や飛鳥宮跡（伝飛鳥板蓋宮跡（でんあすかいたぶきのみやあと））、伝飛鳥板蓋宮跡に付随する庭園である飛鳥京跡苑池も見逃すことのできない石の文化を伝える遺跡です。

高市郡明日香村一帯　0744-54-3240（飛鳥観光協会）
MAP P19 D a-2、b-1、b-2

祈りの回廊

東大寺 別当 狭川（さがわ） 普文（ふもん） 師

1951年奈良県生まれ。1975年龍谷大学大学院仏教学専攻（修士課程）修了。2019年5月1日より第223世別当。

特別講話 33

学び知って、皆で未来を切り拓く

聖（しょうむ）武天皇が動植すべての繁栄を願い人々とともに建てた「みんなのお寺」が東大寺です。「自分には権力も財もあるが、それだけで造るのはいけない。皆に声をかけ力を合わせよう」との想いがあってのことでした。

大仏開眼の翌年、聖武天皇の招きで、遠く唐から鑑真和上（がんじんわじょう）が来日します。戒壇（かいだん）を設け、戒律を日本に伝えた鑑真和上の存在がなければ、日本は現在とは違う国になっただろうと思われます。思想、政治、教育、建築、医療、音楽、舞踊など、あらゆることを諸外国に学び、日本的にカスタマイズしていったのが奈良時代でした。

新型コロナウイルス感染症の流行という事態に直面する我々はどうでしょう。フェイクニュースに踊らされたり、差別的な言葉を投げつける人がいます。情報が溢れすぎて、本質がどこにあるのかわかりにくくなっているのかもしれません。

正しさを見失わないように、根気強く学び、知性を得るのが大切です。そしてルーツをたどることですね。物事の見え方は知ることで変わりますよね。

東大寺では、今できること、やるべきことを進めています。正午の祈り（※1）の呼びかけや、疫病退散を祈願する法要を生中継したのもその一環です。これまでご縁がなかった方々にも仏教を知っていただきたい、出歩くのが難しい方々にもご参拝していただく機会にしたいと思い実行しました。さまざまな宗派の方などが、声を寄せ、ともに行動してくださっていることを非常にうれしく感謝しています。

また東大寺ミュージアムでは、耐震工事に入った戒壇堂の国宝・四天王像、二体の武装天部形が背中合わせとなった珍しいお姿の勝敵毘沙門天像（しょうてきびしゃもんてんぞう）、疫病を抑える青面金剛像（しょうめんこんごう）の最古の作例といわれるお像を拝観いただけます（※2）。

今、我々は皆さんを安心・安全に受け入れるための体制を整えつつ、事に当たっています。専門家の協力を仰いで感染症について知り、予防策を講じて道筋を決める。祈りの場の要となる部分に注力し、未来へ向けた新しい様式を切り拓（ひら）いていかねばなりません。天平期に、飢饉（きかん）、旱魃（かんばつ）などの自然災害、疫病などの社会不安を鎮めるため、多くの方のご尽力で建立された寺としての役割を果たして参りたいと思います。

（※1）新型コロナウイルス感染症の終息祈願。宗教・宗派を越え各地に祈りの輪が広がった

（※2）公開中～会期未定。戒壇堂の四天王像は令和五年頃までの予定

奈良市雑司町 406-1
MAP P18 A d-1　特別開帳 P12
0742-22-5511
JR・近鉄奈良駅から市内循環バス「東大寺大仏殿・春日大社前」下車、徒歩約5分
http://www.todaiji.or.jp/

特別講話

墨坂神社 宮司 太田（おおた） 静代（しずよ） 氏

1966年、奈良県生まれ。2010年より墨坂神社宮司を務める。2021（令和3）年に20年に一度の式年遷宮を迎えるため造営事業に当たる。

特別講話 34

憂いを手ばなし、見つめ直そう

墨坂神社は第十代・崇神（すじん）天皇が疫病を鎮めるため創建されました。墨坂大神と総称される六神を主祭神とする「日本最古の健康と安全の神」の社で、『古事記』に「崇神天皇九年、国に疫病が蔓延した。ある夜、神人が天皇の夢の中に立ち、『赤盾（たた）八枚（やひら）・赤矛八竿（ほこやさお）をもって墨坂の神を祀り、黒盾八枚・黒矛八竿をもって大坂の神を祀れ』と告げた。その教えに従うと疫病は平癒した」と記されています。

そこで、いつまでという期限は未定ですが、当社に伝わる「赤盾八枚・赤矛八竿」を拝殿に掲げております。この盾と矛は折々に修繕しながら長らく仕舞い込んであったもの。まさかこのような出番があるとは思いませんでした。大坂の神とあるのは、香芝市の大坂山口神社（逢坂）のことです。古代大和の交通の要衝（※3）にあった当社と大坂山口神社（逢坂）に疫病の侵入などを防ぐ役割が与えられたのかと思います。

新型コロナウイルス感染症という疫病に向き合うことになって何かできることはないかと考えたとき、やはりそれは「祈る」ことだと思い至り、「新型コロナウイルス平癒祈願祭」を執り行いました。とは言え、人が密集する状況にはできませんので、関係者の皆さんとご相談して、祭祀は少人数で行い、その様子を地元のケーブルテレビで後日放送していただきました。ご覧くださった方からお声をかけていただき、心強くありがたいことでした。

それにしても、このような疫病流行の時代を体験することや、その影響の大きさに驚くばかりです。さまざまな事情で辛く悲しい思いをされた方がおいでしょう。それでも、どうか心を開いておいてほしいと思います。以前のようにたくさん話すことはできないかも知れません。けれど、玄関先まで出る、そして顔を合わせた人に「おはよう」「元気にしている?」と声を掛けてみてください。「話す」ということは、自分の中に持っている憂いや執着を「手ばなす」ということ。一種の「祓（はら）い」です。そうして手ばなした心の空間に、新鮮で良いものを受け入れてください。

私たちのこれからの生活は変わらざるを得ません。家族や友人との時間、地域や生活との関わりを見つめ直す良い機会にできるように、ご一緒に考えてまいりましょう。

（※3）墨坂神社は初瀬街道と伊勢本街道が交わる場所、大坂山口神社は河内と大和を結ぶ古代大坂越えの場所にあり、それぞれ重要な峠を守護する社だった

宇陀市榛原萩原 703
MAP P21 I b-1　特集 P3
0745-82-0114
近鉄榛原駅から徒歩約 10 分
https://sumisaka-jinjya.jp/

奈良大和路の「秘宝・秘仏特別開帳」

普段は拝観できない秘宝・秘仏の特別開帳を紹介

新型コロナウイルスの影響により、行事の中止や、日時の変更、予約・入場制限等の開催概要が変更になる場合があります。お出かけの際は事前に最新情報をご確認ください。拝観料その他詳細は各社寺にお問い合わせください。
（掲載内容は2020年8月現在のものです）

奈良大和路の「秘宝・秘仏特別開帳」の情報は、「祈りの回廊」公式ホームページでもご確認いただけます。
http://inori.nara-kankou.or.jp/

興福寺

MAP A c-2

特別公開 2020 —中金堂再開—

10/24(土)～11/23(月)・(祝)

興福寺の堂宇の中で最重要とされる中金堂。約 300 年ぶりの再建から 2 年を経た本年、常時公開の本尊・釈迦如来坐像、薬王・薬上菩薩像、国宝・四天王像に加え、通常非公開の厨子入り吉祥天倚像が開帳されます。

木造釈迦如来坐像
写真：興福寺

所 奈良市登大路町48
☎ 0742-22-7755
行 ●JR奈良駅から市内循環バス「県庁前」下車、徒歩すぐ●近鉄奈良駅から徒歩約5分
HP https://www.kohfukuji.com/

春日大社 国宝殿

MAP A d-2

芸能の美・杜園の心

—奈良近代彫刻の名匠、森川杜園生誕 200 年にちなんで— 国宝など

10/1(木)～12/13(日) 11/5(木)展示替のため休館

近代彫刻の名匠森川杜園生誕 200 年を記念して、修理後初公開となる旧森川杜園邸の能舞台鏡板をはじめ、杜園の木彫作品や絵画の名品を公開。鹿の作品も多く展示されます。

融（とおる）
（公益財団法人名勝依水園・寧楽美術館所蔵）
写真提供：同上

所 奈良市春日野町160 ☎ 0742-22-7788
行 ●JR・近鉄奈良駅から春日大社本殿行きバス終点下車、徒歩すぐ●JR・近鉄奈良駅から市内循環バス「春日大社表参道」下車、徒歩約10分
HP https://www.kasugataisha.or.jp/

福智院

MAP A c-2

宝冠十一面観音菩薩立像

10/17(土)～10/23(金)、11/1(日)～11/7(土)、2021.3/17(水)～3/23(火)

本尊・地蔵菩薩坐像（鎌倉時代）は総高約 7 m。地蔵大仏と呼ばれ、千仏光背を背負っています。宝冠を頭に載せた優美な十一面観音菩薩立像は、明治の廃仏毀釈の後、お迎えした客仏です。

宝冠十一面観音菩薩立像
写真：椋飛鳥園

所 奈良市福智院町46
☎ 0742-22-1358
行 JR・近鉄奈良駅から天理駅・下山行きバス「福智院町」下車、徒歩すぐ

元興寺

MAP A c-2

秋季特別展「もの・わざ・おもい —復元模造の世界—」

10/24(土)～11/15(日)

今回の特別展では、元興寺文化財研究所が考古遺物から絵画や民具にいたる文化財を様々な手法で復元製作した模造品を一堂に集めて展示。色やカタチだけでなく古の製作技法を再現し、作り手のおもいもこめて製作されてきた復元模造の世界に迫ります。

境内

所 奈良市中院町11 ☎ 0742-23-1377
行 ●近鉄奈良駅から徒歩約15分
●JR奈良駅から徒歩約20分
HP https://gangoji-tera.or.jp/

不空院

MAP A d-2

本尊・不空羂索観音菩薩坐像など 重文など

10/17(土)、10/25(日)～11/15(日)

縁切り・縁結びで知られる古刹。「不空」転じて「福」とも。空海が建立を発願したと伝わる八角円堂（江戸時代に倒壊）に奉安されていた本尊のほか、秘仏・宇賀弁財天女も開扉されます。

不空羂索観音菩薩坐像（重文）
写真：不空院

所 奈良市高畑町1365
☎ 0742-26-2910
行 JR・近鉄奈良駅から市内循環バス「破石町（わりいしちょう）」下車、徒歩約10分
HP https://www.fuku-in.com/

頭塔

MAP A d-2

史跡頭塔、浮彫石仏など 重文

10月下旬～11月上旬（正倉院展の期間にあわせて実施予定）

一辺 32 m、高さ 10 mある「奈良のピラミッド」。奈良時代の僧・玄昉の頭部を埋めたとされることが名称の由来。実際には東大寺僧・実忠が築いた土塔で、各辺に合計 13 体の浮彫石仏を見ることができます。

史跡頭塔（重文）
写真：椋飛鳥園

所 奈良市高畑町921
☎ 0742-27-9866（奈良県文化財保存課）
行 JR・近鉄奈良駅から市内循環バス「破石町（わりいしちょう）」下車、徒歩5分
HP http://www.pref.nara.jp/6709.htm

【東大寺 A d-1】①僧形八幡神坐像〈国宝〉《勧進所八幡殿》、五劫思惟阿弥陀如来坐像（重文）《勧進所阿弥陀堂》：10/5(月) ※転害会
②良弁僧正坐像〈国宝〉《開山堂》、執金剛神立像〈国宝〉《法華堂》、重源上人坐像〈国宝〉、阿弥陀如来立像（重文）、愛染明王坐像（重文）《俊乗堂》：12/16(水) ※良弁忌　※秘仏はいずれも法要終了後に特別開帳されます。※お堂の修理工事のため、公慶上人坐像は本年は公開されません。

お出かけの際は事前に最新情報をご確認ください。拝観料その他詳細は各社寺にお問い合わせください。（掲載内容は2020年8月現在のものです）

般若寺

コスモス 9月中旬～11月上旬

MAP A d-1

白鳳秘仏寺宝特別公開 重文など

9/20(日)～11/11(水)

聖武天皇が平城京の鬼門鎮護のため堂塔を建立したのが始まり。春～秋、様々な花が境内を彩り、特に「コスモス寺」として有名。十三重石宝塔の軸石から発見された白鳳秘仏や寺宝が公開されます。

阿弥陀如来立像（重文）
写真：般若寺

所 奈良市般若寺町221
☎ 0742-22-6287
行 JR・近鉄奈良駅から青山住宅、州見台（くにみだい）八丁目行きバス「般若寺」下車、徒歩約3分
HP http://www.hannyaji.com/

五劫院

MAP A d-1

涅槃図・五劫思惟阿弥陀仏坐像 重文

2021.2/12(金)～2/18(木)

南都焼討に遭った東大寺の再興に尽力した重源上人が宋から請来したと伝わる五劫思惟阿弥陀仏坐像は果てしなく長い時間を瞑想されたお姿で、特に頭髪が個性的。涅槃図とともに特別公開されます。

五劫思惟阿弥陀仏坐像（重文）
写真：五劫院

所 奈良市北御門町24
☎ 0742-22-7694
行 JR・近鉄奈良駅から青山住宅、州見台（くにみだい）八丁目行きバス「今在家」下車、徒歩約8分

大安寺

MAP A b-2

❶本尊・十一面観音菩薩立像 重文

10/1(木)～11/30(月)

❷秘仏・馬頭観音菩薩立像 重文

2021.3/1(月)～3/31(水)

南都七大寺のひとつで、聖徳太子や空海とゆかりが深い古刹。本尊は疾病を免れ、財宝や食物に恵まれる功徳があるとされ、馬頭観音は災厄を除く観音様として信仰されています。

❶十一面観音菩薩立像（重文）
写真：椋飛鳥園

所 奈良市大安寺2-18-1 ☎ 0742-61-6312
行 ●JR・近鉄奈良駅からシャープ前、白土町（しらつちちょう）行きバス「大安寺」下車、徒歩約10分●JR奈良駅から徒歩約25分
HP http://www.daianji.or.jp/

帯解寺

MAP A d-1

秘仏・秘宝特別公開 重文など

11/5(木)～11/12(木)、
2021.3/6(土)～3/13(土)

お腹に帯を締めているように見える本尊・帯解子安地蔵菩薩は求子や安産に霊験あらたかで、全国から多くの祈願が寄せられます。本尊のほか、春日赤童子画像、虚空蔵菩薩坐像などが公開されます。

帯解子安地蔵菩薩像（重文）
写真：椋飛鳥園

所 奈良市今市町734 ☎ 0742-61-3861
行 ●JR帯解駅から北へ徒歩約5分●近鉄奈良駅から天理駅行き、下山行きバス「下山」下車、西へ徒歩約10分
HP http://www.obitokedera.or.jp/

不退寺

紅葉 11月下旬　睡蓮 ～11月下旬　椿 10月～4月

MAP A b-1

在原業平朝臣画像、寺宝特別展

10/1(木)～11/30(月)、2021.3/1(月)～5/31(月)

六歌仙のひとり在原業平ゆかりの古刹で、正式名称は不退転法輪寺。本尊は業平自作とされる聖観音菩薩立像。在原業平朝臣画像や寺宝の公開時期は、紅葉（秋）や山茶花（早春）などが見頃です。

在原業平朝臣画像
写真：永野鹿鳴荘

所 奈良市法蓮町517 ☎ 0742-22-5278
行 ●JR・近鉄奈良駅から大和西大寺駅行き、航空自衛隊行きバス「一条高校前」下車、徒歩約5分●近鉄大和西大寺駅からJR・近鉄奈良駅行きバス「不退寺口」下車、徒歩約3分●近鉄新大宮駅から徒歩約15分
HP http://www3.kcn.ne.jp/~futaiji/

興福院

MAP A c-1

静寂に包まれた佐保路の尼寺

—阿弥陀三尊像と小堀遠州ゆかりの庭園をたずねて— 重文など

11/21(土)～11/23(月)・(祝)

奈良時代造立の本尊阿弥陀三尊像や、小堀遠州造営の客殿（いずれも重文）、南都には珍しい徳川家ゆかりの霊廟建築などを特別公開。本堂や客殿からは、紅葉に彩られた境内を一望できます。

本堂
写真：興福院

所 奈良市法蓮町881
☎ 0742-22-2890
行 ●JR・近鉄奈良駅から大和西大寺駅行きバスまたは大和西大寺駅から近鉄・JR奈良駅（西口）行きバスで「佐保小学校」下車、徒歩約3分
●近鉄奈良駅から徒歩約20分

法華寺

椿 12月～3月　梅 2月中旬～3月

MAP A b-1

❶十一面観音菩薩立像 国宝など

10/25(日)～11/10(火)、2021.3/20(土)・(祝)～4/7(水)

❷絹本着色阿弥陀三尊および童子像（慈光殿） 国宝など

10/25(日)～11/10(火) 入場制限

聖武天皇の后・光明皇后の発願で創建。特別開扉の本尊・十一面観音菩薩立像は光明皇后がモデルとも。秋季は平安時代作の浄土芸術の傑作も同時公開されます。

❷阿弥陀三尊及び童子像のうちの阿弥陀如来像（国宝）
写真：椋飛鳥園

所 奈良市法華寺町882 ☎ 0742-33-2261
行 ●JR・近鉄奈良駅から大和西大寺駅行き、航空自衛隊行きバスまたは近鉄大和西大寺駅からJR・近鉄奈良駅行きバス「法華寺」下車、徒歩約3分●近鉄新大宮駅から徒歩約15分
HP https://hokkejimonzeki.or.jp/

海龍王寺

雪柳 3月中旬～4月中旬

MAP A b-1

十一面観音菩薩立像、寺宝展 重文など

10/25(日)～11/10(火)、2021.3/23(火)～4/7(水)（予定）

寺号は遣唐留学僧・玄昉が嵐の中『海龍王経』を唱え無事に帰国した故事が由来。遣唐使以来、現在も旅行や留学の安全が祈願されています。光明皇后が刻んだ像をもとにした本尊・十一面観音菩薩立像などを拝観できます。

十一面観音菩薩立像（重文）
写真：椋飛鳥園

所 奈良市法華寺町897 ☎ 0742-33-5765
行 ●JR・近鉄奈良駅から大和西大寺駅行き、航空自衛隊行きバスまたは近鉄大和西大寺駅からJR・近鉄奈良駅行きバス「法華寺」下車、徒歩すぐ●近鉄新大宮駅から徒歩約15分
HP http://kairyuouji.jp/

【興善寺 A c-2】①観経曼陀羅拝観：9/20(日)～9/25(金) ※要予約、2021.3/18(木)～3/24(水) ※要予約　②涅槃図拝観：2021.2/1(月)～2/15(月) ※要予約
【慈眼寺 A c-1】聖観世音菩薩：2021.2/3(水) ※初午、3/11(木) ※二の午
【伝香寺 A c-2】本尊・釈迦如来坐像、南無仏太子像、地蔵菩薩立像納入品、筒井家関連書状：2021.3/12(金)

新型コロナウイルスの影響により、行事の中止や、日時の変更、予約・入場制限等の開催概要が変更になる場合があります。

◆ 朝のお参り・朝の勤行 ◆

一般参拝いただける朝のお参りと朝の勤行をご紹介します。
※祭典や行事などで実施されない場合がありますので、事前に各社寺にお問合せ下さい。

興善寺 P13 MAP A c-2 ☎ 0742-23-7007
◎朝の勤行 ※要予約

十輪院 MAP A c-2 ☎ 0742-26-6635
◎朝の勤行 午前8時半～ 体験作務 午前8時～
※月曜休、予約不要

朝護孫子寺 P15 MAP C b-2 ☎ 0745-72-2277
◎修行代（しゅぎょうだい）（修法と勤行）

極楽寺 MAP C c-2 ☎ 0743-57-2231
◎朝のお勤め 午前8時～9時
※要予約

石上神宮 MAP E a-1 ☎ 0743-62-0900
◎朝拝（ちょうはい） 午前8時半頃～

金峯山寺 P17 MAP H c-2 ☎ 0746-32-8371
◎蔵王堂 朝座勤行（あさざごんぎょう）
※御開帳期間のみ有料

長谷寺 P17 MAP I a-1 ☎ 0744-47-7001
◎朝の勤行 4月～9月 午前6時半～
10月～3月 午前7時～
※受付は30分前から、団体の場合は要予約

海住山寺

紅葉 11月中旬～11月下旬 MAP B a-1

五重塔特別開扉、寺宝特別公開 国宝など
10/31(土)～11/8(日) ※荒天時は塔開扉中止の場合あり

735年創建と伝わり、鎌倉時代に解脱上人貞慶により中興された名刹。国宝・五重塔の内陣は華麗に彩色された厨子風造りで、扉絵は必見。奥の院十一面観音菩薩立像や四天王立像なども公開されます。

五重塔〈国宝〉 写真：㈱飛鳥園

所 京都府木津川市加茂町例弊海住山20
☎ 0774-76-2256
行 ●JR加茂駅西口から奥畑行きバス「海住山寺口」下車、徒歩約20分（※バスは平日のみ運行）●JR加茂駅西口から和束町小杉行きバス「岡崎（加茂）」下車、徒歩約30分●JR加茂駅からタクシー約10分
HP http://www.kaijyusenji.jp/

薬師寺

萩 9月中旬～10月中旬 MAP A a-2

❶西塔初層内陣 釈迦四相像 特別公開 重文など
9/16(水)～11/30(月)、2021.1/1(金・祝)～1/8(金)

❷食堂特別公開
9/16(水)～11/30(月)、2021.1/1(金・祝)～1/8(金)

❸玄奘三蔵院伽藍 大唐西域壁画殿 特別公開
9/16(水)～11/30(月)、2021.1/1(金・祝)～1/8(金)

❹吉祥天女画像特別公開（国宝・平成の吉祥天） 国宝
2021.1/1(金・祝)～1/3(日)［国宝］、1/4(月)～1/15(金)［平成の吉祥天］

❷食堂ご本尊・阿弥陀三尊浄土図 写真：薬師寺

❹吉祥天女画像（国宝） 写真：㈱飛鳥園

令和３年春に奈良時代建立の東塔が解体修理を終える薬師寺。西塔の初層内陣、阿弥陀三尊浄土図を中心とする食堂壁画、平山郁夫画伯の「大唐西域壁画」が同期間に公開されます。また、吉祥天女画像は奈良時代作の国宝と、平成27年復元画像が順次公開されます。

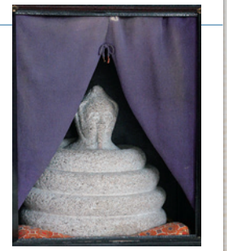
所 奈良市西ノ京町457 ☎ 0742-33-6001
行 ●近鉄西ノ京駅から徒歩すぐ●JR・近鉄奈良駅から奈良県総合医療センター行きバス「薬師寺」下車、徒歩すぐ
HP https://www.yakushiji.or.jp/

喜光寺

MAP A a-2

弁天堂神影 宇賀神（秘仏）
2021.1/1(金・祝)～1/15(金)

行基菩薩が創建し、東大寺大仏殿のモデルとして建てられた本堂は「試みの大仏殿」と呼ばれます。宇賀神像は人頭蛇身という神秘的なお姿。幸福を願って祈願する人に多くの霊験を賜るとされます。


宇賀神像 写真：喜光寺

所 奈良市菅原町508 ☎ 0742-45-4630
行 ●近鉄尼ヶ辻駅から徒歩約10分●近鉄大和西大寺駅から徒歩約20分●JR・近鉄奈良駅から学園前駅（南）行きバス「阪奈菅原」下車すぐ
HP http://www.kikouji.com/

西大寺

萩 9月下旬～10月上旬 MAP A a-1

愛染明王坐像（愛染堂）、聚宝館特別公開 重文など
10/25(日)～11/15(日)、2021.1/15(金)～2/4(木)

南都七大寺のひとつで称徳天皇の勅願により建立。鎌倉時代に叡尊によって再興されました。愛染堂の秘仏で総身真紅（そうしんしんく）の愛染明王坐像、多数の尊像・寺宝を納める聚宝館が特別公開されます。

愛染明王坐像（重文） 写真：㈱飛鳥園

所 奈良市西大寺芝町1-1-5
☎ 0742-45-4700
行 近鉄大和西大寺駅から徒歩約3分
HP http://saidaiji.or.jp/

松尾寺

MAP C c-1

❶秋の寺宝展（舎人親王像など） 重文など
～11/10(火)

❷秘仏本尊・厄除観音（厄除千手千眼観世音菩薩立像）
11/3(火・祝)

日本書紀を編纂した舎人親王が開基したと伝わる日本最古の厄除霊場。日本唯一の舎人親王像など寺宝を公開。秘仏本尊は年に一日だけの公開となります。

❶舎人親王像 写真：松尾寺

所 大和郡山市山田町683 ☎ 0743-53-5023
行 ●JR大和小泉駅（東口）から近鉄郡山駅行きバス、または近鉄郡山駅から大和小泉駅東口行きバス「松尾寺口」下車、徒歩約30分●JR大和小泉駅から徒歩約45分
HP https://matsuodera.com/

法隆寺

MAP C c-1

❶法隆寺秘宝展 重文など
9/22(火・祝)～11/30(月)

❷夢殿秘仏・救世観音菩薩立像 国宝
10/22(木)～11/22(日)

❸上御堂（釈迦三尊像） 国宝など
11/1(日)～11/3(火・祝)

❷夢殿本尊・観音菩薩立像［救世観音］（国宝）
写真：㈱飛鳥園

❸上御堂（重文）・釈迦三尊像（国宝）
写真：㈱飛鳥園

7世紀創建で、現存する世界最古の木造建築物群（西院伽藍）を有する世界文化遺産の寺院。日本を代表する秘仏秘宝を多く所蔵し、一部が大宝蔵殿で展示されるほか、東院伽藍の夢殿では国宝の救世観音菩薩立像も開扉。上御堂の釈迦三尊像なども拝観できます。

所 生駒郡斑鳩町法隆寺山内1-1
☎ 0745-75-2555
行 ●JR法隆寺駅から法隆寺参道行きバス終点下車、徒歩すぐ
●近鉄筒井駅から王寺駅行きバス「法隆寺前」下車、徒歩すぐ
HP http://www.horyuji.or.jp/

朝護孫子寺

紅葉 11月上旬～12月上旬 MAP C b-2

❶信貴山縁起絵巻特別公開「飛倉の巻」 国宝
10/31(土)～11/15(日)

❷毘沙門天王秘仏御開扉
2021.1/1(金・祝)～1/11(月・祝)、2/1(月)～2/28(日)

国宝の信貴山縁起絵巻は全３巻のうち「飛倉の巻」が霊宝館で、また、毘沙門天王は普段見られる「お前立ち」の後ろに秘された「中秘仏」が公開されます。

❶信貴山縁起絵巻（飛倉の巻、部分）〈国宝〉
写真：朝護孫子寺

所 生駒郡平群町信貴山2280-1
☎ 0745-72-2277（本坊）
行 JR・近鉄王寺駅または近鉄信貴山下駅から信貴山門行きバス「信貴大橋」下車、徒歩約5分
HP http://www.sigisan.or.jp/

弘仁寺

MAP A d-1

❶秘仏本尊・虚空蔵菩薩像
11/1(日)～11/30(月)

❷唐草文三足双耳香炉（奈良市指定文化財）
11/1(日)～11/30(月)

本尊は無限の智恵と慈悲を持つ虚空蔵菩薩。13歳の子に知恵を授けてもらう十三詣りが有名。奈良市指定文化財の香炉、数学の問題や解法を記した算額も必見。

❷唐草文三足双耳香炉
（奈良市指定文化財）
写真：奈良市教育委員会

所 奈良市虚空蔵町46 ☎ 0742-62-9303
行 ●JR・近鉄奈良駅から天理駅行き、下山行きバス「下山」下車乗換、米谷町行きコミュニティバス「高樋町」下車、徒歩約5分●JR・近鉄奈良駅からタクシー約30分
HP http://www.kouninji.org/

正暦寺

紅葉 11月中旬～12月上旬 MAP A d-1

秘仏・薬師如来倚像 重文など
11/3(火・祝)～12/6(日) ※本堂にて、12/22(火) ※瑠璃殿（収蔵庫にて）

992（正暦３）年、透き通る清流と秋の紅葉に彩られる“錦の里”に創建。特別公開される白鳳秘仏の本尊・薬師如来倚像は台座に腰を掛け、足を踏割蓮華に乗せている、珍しいお姿をしています。

薬師如来倚像（重文） 写真：正暦寺

所 奈良市菩提山町157 ☎ 0742-62-9569
行 ●JR・近鉄奈良駅からタクシー約25分●11月中旬～12月初旬はJR・近鉄奈良駅から臨時バス運行（詳細は奈良交通へお問合せください）●JR・近鉄天理駅からタクシー約20分
HP http://shoryakuji.jp/

談山神社

紅葉 11月中旬～12月上旬 MAP D b-2

❶秋の社宝特別展“京都からお帰り”「京博寄託のたから」
10/9(金)～12/6(日)、ライトアップ：11/13(金)～11/29(日)

❷新春特別公開
2021.1/1(金・祝)～2/28(日)（予定）

日本唯一の木造十三重塔が建つ神社。大化の改新の立役者・藤原鎌足を祀ります。社宝特別展は紅葉シーズンに重なり、十三重塔などに映える絶景を楽しめます。

十三重塔（重文） 写真：談山神社

所 桜井市多武峰319 ☎ 0744-49-0001
行 JR・近鉄桜井駅から談山神社行きバス終点下車、徒歩約3分
HP http://www.tanzan.or.jp/

聖林寺

南天 11月～2月 MAP D b-1

❶秘宝・マンダラ展
11/1(日)～11/30(月)

❷秘仏・宝蔵天、秘仏・弁財天
2021.1/1(金・祝)～1/3(日)

国宝の十一面観音立像はミロのヴィーナスとも比較される仏像彫刻の優作。秘宝のマンダラ（仏画）が約15点公開。正月三が日は秘仏も開扉されます。

❶浄土曼荼羅 写真：聖林寺

所 桜井市下692 ☎ 0744-43-0005
行 ●JR・近鉄桜井駅から談山神社行きバス「聖林寺」下車、徒歩約3分
●JR・近鉄桜井駅からタクシー約10分
HP http://www.shorinji-temple.jp/

岩船寺

紅葉 11月中旬～12月上旬 MAP B a-2

❶秘宝秘仏特別公開
10/1(木)～11/30(月)

❷三重塔初層特別開扉 重文
10月・11月の毎週土日祝

※雨天・荒天時は塔開扉中止の場合あり

秘仏・如意輪観音、弁財天、羅刹天、両界曼荼羅、岩船寺縁起などの秘宝に加え、三重塔初層の色鮮やかな壁画も。紅葉に彩られていく境内で贅沢な特別公開です。

三重塔（重文） 写真：㈱飛鳥園

所 京都府木津川市加茂町岩船上ノ門43
☎ 0774-76-3390
行 JR加茂駅から加茂山の家行きバス「岩船寺」下車、徒歩すぐ
HP http://gansenji.or.jp/

浄瑠璃寺

紅葉 11月上旬～11月下旬 MAP B a-2

❶秘仏・吉祥天女立像 重文
10/1(木)～11/30(月)、2021.1/1(金・祝)～1/15(金)

❷三重塔初層開扉・薬師如来坐像 国宝 重文
毎月8日、10/31(土)～11/8(日)、2021.1/1(金・祝)～1/3(日)、1/8(金)～1/10(日) ※ただし好天の日に限る

❸秘仏・大日如来坐像 本堂特別安置
～2021.6/20(日)

平安時代の浄土式庭園と９体の阿弥陀如来坐像を安置する国宝・本堂を持つ名刹。厨子入りの吉祥天女立像や国宝・三重塔の薬師如来坐像などが開扉されます。

❶吉祥天女立像（重文） 写真：㈱飛鳥園

所 京都府木津川市加茂町西小札場40
☎ 0774-76-2390
行 JR加茂駅から加茂山の家行きバス「浄瑠璃寺前」下車、徒歩約3分

【吉田寺 C c-2】多宝塔（重文）初層・大日如来坐像：9/1(火) ※放生会・9/2(水) ※追悼会、11/1(日)～11/3(火・祝)
【慈光院 C c-1】本堂天井鳴き龍：2021.1/1(金・祝)～1/3(日)

【唐招提寺 A a-2】金亀舎利塔〈国宝〉、釈迦如来立像（重文）など《礼堂》：10/21(水)～10/23(金)

新型コロナウイルスの影響により、行事の中止や、日時の変更、予約・入場制限等の開催概要が変更になる場合があります。

お出かけの際は事前に最新情報をご確認ください。拝観料その他詳細は各社寺にお問い合わせください。（掲載内容は2020年8月現在のものです）

石光寺（せっこうじ）
寒牡丹（かんぼたん） 12月上旬～1月中旬　MAP G a-1

弥勒如来秘仏（木造）、日本最古の石仏開帳（みろくにょらいひぶつ、もくぞう、にほんさいこ、せきぶつかいちょう）
2021.1/1(金)・(祝)～1/31(日)

当麻曼陀羅を織った中将姫ゆかりの「染の井」「糸掛桜」が現存する寺院。牡丹や寒牡丹、シャクヤクなどの花が四季を彩る境内で弥勒堂が開扉され、白鳳弥勒石仏と秘仏弥勒如来が開帳されます。

弥勒如来石仏　写真：石光寺

所 葛城市染野387
☎ 0745-48-2031
行 ●近鉄二上神社口（にじょうじんじゃぐち）駅から徒歩約13分
●近鉄当麻寺駅から徒歩約20分
HP https://sekkouji.or.jp/

當麻寺 奥院（たいまでら おくのいん）
紅葉（こうよう） 11月下旬～12月上旬　寒牡丹（かんぼたん） 12月中旬～1月　MAP G a-1

❶綴織（つづれおり） 當麻曼陀羅（たいままんだら） 平成本特別公開（へいせいほんとくべつこうかい）
11/1(日)～11/10(火)

❷大方丈襖絵特別公開（おおほうじょうふすまえ とくべつこうかい）
11/14(土)～11/29(日)

❸本尊・法然上人坐像（ほんぞん・ほうねんしょうにんざぞう）
2021.2/24(水)　重文など

浄土庭園が広がる奥院。中将姫が織ったとされる當麻曼陀羅を同じ手法で復元した當麻曼陀羅平成本や、上村淳之画伯の襖絵「花鳥浄土」などが特別公開されます。

❶平成本・當麻曼陀羅（部分）
写真：當麻寺 奥院

所 葛城市當麻1263
☎ 0745-48-2008
行 近鉄当麻寺駅徒歩約15分
HP http://www.taimadera.or.jp/

如意輪寺（にょいりんじ）
紅葉（こうよう） 10月下旬～11月下旬　MAP H c-2

後醍醐天皇御霊殿（ごだいごてんのうごれいでん）
11/2(月)～11/18(水)

吉野に行宮を構えた（南朝）後醍醐天皇の勅願寺。御霊殿には後醍醐天皇御自作の木像、南朝歴代天皇の御尊牌（御位牌）が奉祀されています。後醍醐天皇ご生誕（11/2）にあわせて「菊まつり」も開催。

後醍醐天皇御自作の木像
写真：如意輪寺

所 吉野郡吉野町吉野山1024
☎ 0746-32-3008
行 ●近鉄吉野駅からロープウェイ「吉野山」乗換、吉野大峯ケーブルバス「如意輪寺口」下車、徒歩約20分（※バス本数少ない）●近鉄吉野駅から徒歩約40分またはタクシー約10分
HP https://nyoirinji.com/

金峯山寺（きんぷせんじ）
MAP H c-2

日本最大 秘仏本尊金剛蔵王大権現（にほんさいだい ひぶつほんぞんこんごうざおうだいごんげん） 特別ご開帳（とくべつかいちょう）
10/16(金)～11/30(月)　重文

世界遺産登録の本堂・蔵王堂（国宝）に安置されている日本最大秘仏・金剛蔵王大権現三尊が国宝仁王門修理勧進のため特別にご開帳されます。修験道の開祖・役行者が感得したと伝わる権現仏で、像高約７m。三尊とも青く採色された有難いお姿です。

秘仏金剛蔵王権現像［中尊］（重文）
写真：金峯山寺

所 吉野郡吉野町吉野山2498
☎ 0746-32-8371
行 近鉄吉野駅から徒歩約30分またはロープウェイ「吉野山」下車、徒歩約10分
HP https://www.kinpusen.or.jp/

榮山寺（えいさんじ）
萩（はぎ） 9月～10月上旬　紅葉（こうよう） 11月中旬～12月上旬　MAP H a-2

❶本尊（ほんぞん）・薬師如来坐像（やくしにょらいざぞう） 重文
❷八角円堂内内陣装飾画特別拝観（はっかくえんどうないないじんそうしょくがとくべつはいかん） 国宝など
❶❷10/25(日)～11/29(日)

藤原不比等の長男・武智麻呂が創建。内陣に天平時代の極彩色壁画が残る国宝・八角円堂は、法隆寺夢殿と並ぶ貴重な天平建築として優美な姿を見せてくれます。

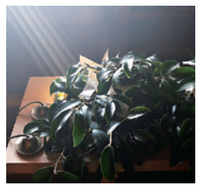
❶本尊・薬師如来坐像（重文）
写真：榮山寺

所 五條市小島町503
☎ 0747-24-5557
行 ●JR五条駅から八木駅（南）行きバス「栄山寺口」下車、徒歩約10分（※バス本数少ない）●JR五条駅から徒歩約25分またはタクシー約5分
HP https://www.eisanji.com/

櫻本坊（さくらもとぼう）
MAP H c-2

天武天皇御神像（てんむてんのうごしんぞう） 特別ご開帳（とくべつかいちょう）
11/7(土)～11/15(日)

天武天皇が夢に出てきた桜を吉野の山中で見つけ、そこに創建された修験道根本道場の古刹。宝聚堂が開扉され、天武天皇ご神像のほか、地蔵菩薩坐像、役行者母公像などの寺宝を拝観できます。

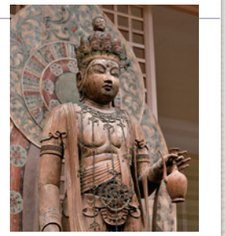

桜　写真：櫻本坊

所 吉野郡吉野町吉野山1269
☎ 0746-32-5011
行 ●近鉄吉野駅からロープウェイ「吉野山」乗換、吉野大峯ケーブルバス「竹林院前」下車、徒歩すぐ（※バス本数少ない）●近鉄吉野駅から徒歩約40分またはタクシー約10分
HP https://sakuramotobou.or.jp/

室生寺（むろうじ）
紅葉（こうよう） 10月下旬～12月中旬　MAP I d-1

室生寺寶物殿（むろうじほうもつでん） 国宝など
9/5(土)～開館

古来、女性の入山や祈りも受け入れ、女人高野として知られる古刹。令和２年に開館を迎えた寶物殿は国宝・十一面観音菩薩像、釈迦如来坐像、重文・地蔵菩薩像、十二神将像６体、その他貴重な寺宝も収蔵しています。


十一面観音菩薩立像（国宝）
写真：室生寺

所 宇陀市室生78
☎ 0745-93-2003
行 近鉄室生口大野駅から室生寺行きバス終点下車、徒歩約5分
HP http://www.murouji.or.jp/

長谷寺（はせでら）
紅葉（こうよう） 10月下旬～12月中旬　寒牡丹（かんぼたん） 12月上旬～2月中旬　MAP I a-1

本尊大観音尊像（ほんぞんだいかんのんそんぞう）（十一面観世音菩薩立像（じゅういちめんかんぜおんぼさつりゅうぞう））特別拝観（とくべつはいかん）
10/10(土)～12/6(日)　重文

日本最大級の木造仏、本尊・十一面観世音菩薩立像。普段は尊顔のみの拝観ですが、特別拝観では、お御足に触れてご縁を結んでいただけます。

本尊・十一面観世音菩薩立像（重文）
写真：長谷寺

所 桜井市初瀬731-1
☎ 0744-47-7001
行 近鉄長谷寺駅から徒歩約15分
HP https://www.hasedera.or.jp/

【金剛寺 H a-2】星供曼荼羅、星祭り九曜星本尊：2021.2/2(火)　【法起院 I a-1】長谷庚申　秘仏青面金剛像：11/12(木)～11/15(日)

吉野山ロープウェイは、金・土・日・月曜日のみ運行〔10/30(金)～11/30(月)は毎日運行〕。火・水・木曜日は、ケーブル代行バスが運行。運行情報や時刻表は下記にお問い合わせ下さい。
問 吉野大峯ケーブル自動車㈱　☎ 0746-39-0010

新型コロナウイルスの影響により、行事の中止や、日時の変更、予約・入場制限等の開催概要が変更になる場合があります。

岡寺（おかでら）
紅葉（こうよう） 11月中旬～12月中旬　MAP D b-2

❶本堂内々陣お扉特別開扉（ほんどうないないじん とびらとくべつかいひ） 重文
10/10(土)～12/6(日)

❷三重宝塔初層壁画扉絵特別公開（さんじゅうのほうとうしょそうへきがとびらえ とくべつこうかい）
10/18(日)

西国第７番札所の厄除け霊場。高さ4.85mの本尊・如意輪観音坐像は日本最大の塑像。迫力ある全身を拝観できます。三重宝塔は開山忌のみの公開です。

❶塑造 如意輪観音坐像（重文）
写真：岡寺

所 高市郡明日香村岡806
☎ 0744-54-2007
行 近鉄飛鳥駅または近鉄橿原神宮前駅から明日香周遊バス「岡寺前」下車、徒歩約10分
HP http://www.okadera3307.com/

おふさ観音（かんのん）
バラ（ばら） 10月中旬～11月下旬　MAP D a-1

秘宝・生き人形（ひほう・いきにんぎょう）
10/19(月)～11/30(月)

秋のバラまつりと同期間、本堂内で天才人形師・安本亀八作の生き人形が公開されます。「生き人形」とは精緻な技巧で徹底的に本物に似せた人形のこと。“肌”に浮き出た“静脈”も見て取れます。

バラまつり　写真：おふさ観音

所 橿原市小房町6-22
☎ 0744-22-2212
行 ●近鉄大和八木駅から下市口駅行き、近鉄御所駅行きバス「小房（おふさ）」下車、徒歩約5分
●近鉄大和八木駅から徒歩約25分またはタクシーで約10分●JR畝傍駅から徒歩約10分
HP http://www.ofusa.jp/

安倍文殊院（あべもんじゅいん）
コスモス 9月中旬～10月下旬　MAP E a-2

金閣浮御堂霊宝館（きんかくうきみどうれいほうかん） 寺宝展（じほうてん） 国宝など
秋：9/1(火)～11/30(月)、冬：12/1(火)～2021.2/28(日)

本尊は快慶作の獅子に乗った文殊菩薩。安倍仲麻呂・安倍晴明の御尊像など陰陽道に関する宝物や秘仏を納める金閣浮御堂で、魔除け・災難除けの「七まいり」の後、内陣にあたる霊宝館を拝観できます。

本堂　写真：安倍文殊院

所 桜井市阿部645
☎ 0744-43-0002
行 ●JR・近鉄桜井駅から桜井市コミュニティバスまたは石舞台行きバス「安倍文殊院」下車、徒歩すぐ●JR・近鉄桜井駅から徒歩約20分またはタクシー約5分
HP https://www.abemonjuin.or.jp/

壷阪寺（南法華寺）（つぼさかでら（みなみほっけじ））
紅葉（こうよう） 11月中旬～12月中旬　MAP D a-2

❶観音大めがねくぐり（かんのんおおめがねくぐり）
10/10(土)～12/18(金)

❷壷阪観音お身拭い特別結縁参拝（つぼさかかんのんおみぬぐいとくべつけちえんさんぱい）
10/10(土)～12/6(日)

❸納め観音（おさめかんのん） 秘仏（ひぶつ）・子島荒神像（こじまこうじんぞう）
12/18(金)

眼病封じの古刹。大観音石像サイズの大めがねくぐり、浄布で本尊・十一面千手観音菩薩像に触れるお身拭い参拝、一年で３時間のみの荒神像公開が行われます。

本尊・十一面千手観音菩薩坐像
（撮影：藤井金治）

所 高市郡高取町壷阪3
☎ 0744-52-2016
行 近鉄壺阪山駅から壷阪寺前行きバス終点下車、徒歩すぐ
HP http://www.tsubosaka1300.or.jp/

霊山寺（りょうせんじ）
バラ（ばら） 10月～11月　MAP F b-2

❶薬師三尊像（やくしさんぞんぞう）、秋薔薇（あきばら）と秘仏宝物展（ひぶつほうもつてん） 重文
10/23(金)～11/8(日)、2021.1/1(金)・(祝)～1/3(日) ※正月は薬師三尊像のみ

❷三重塔初層特別開扉（さんじゅうのとうしょそうとくべつかいひ） 重文
11/3(火)・(祝)

聖武天皇の勅願で行基が建立した古刹。1200坪あるバラ園の秋咲きにあわせて薬師三尊像や秘仏を公開。一日だけ公開の三重塔初層・極彩色壁画も見逃せません。

❶十一面観音菩薩立像（重文）
写真：㈱飛鳥園

所 奈良市中町3879
☎ 0742-45-0081
行 ●近鉄富雄駅から若草台行きバス「霊山寺」下車、徒歩約1分●近鉄富雄駅から徒歩約30分またはタクシー約8分
HP http://www.ryosenji.jp/

長岳寺（ちょうがくじ）
紅葉（こうよう） 11月～12月　椿（つばき） 1月～3月　MAP E a-1

大地獄絵開帳（だいじごくえかいちょう）
10/23(金)～11/30(月)

境内が紅葉に染まる時期、三悪道や修羅道の世界を描いた大地獄絵（狩野山楽筆）を公開。土日祝（13時頃）は住職による絵解きも開催。全９幅・総幅11mの迫力に触れると、日々の心と行いを省みたくなります。

大地獄絵・大焦熱地獄［部分］
写真：長岳寺

所 天理市柳本町508
☎ 0743-66-1051
行 ●JR・近鉄天理駅から桜井駅北口行きバス「上長岡（かみなんか）」下車、徒歩約10分
●JR柳本駅から徒歩約20分
HP https://www.chogakuji.or.jp/

當麻寺 中之坊（たいまでら なかのぼう）
紅葉（こうよう） 11月下旬～12月上旬　MAP G a-1

❶書院特別公開（しょいんとくべつこうかい） 重文
11/13(金)～11/30(月)

❷布袋尊百童子屏風（ほていそんひゃくどうじびょうぶ）
2021.1/1(金)・(祝)～2/28(日)

❸導き観音（みちびかんのん）（平安時代・重要美術品（へいあんじだい じゅうようびじゅつひん））
毎月16日
14時～15時（受付13時30分～14時）

4年に一度の中之坊書院特別公開。期間中、肉筆模写による復元事業が行われている400年前の襖絵を一部見学できます。導き観音は中将姫の守り本尊として知られ、月例の祈願会で堂内拝観できます。

❶書院第３号第４号襖（左２面）・模写途中の襖（右２面）
写真：當麻寺 中之坊

所 葛城市當麻1263
☎ 0745-48-2001
行 近鉄当麻寺駅から徒歩約15分
HP http://www.taimadera.org/

當麻寺 西南院（たいまでら さいないん）
紅葉（こうよう） 11月下旬～12月上旬　MAP G a-1

西南院本堂特別開帳（さいないんほんどうとくべつかいちょう） 重文など
11/21(土)～11/30(月)

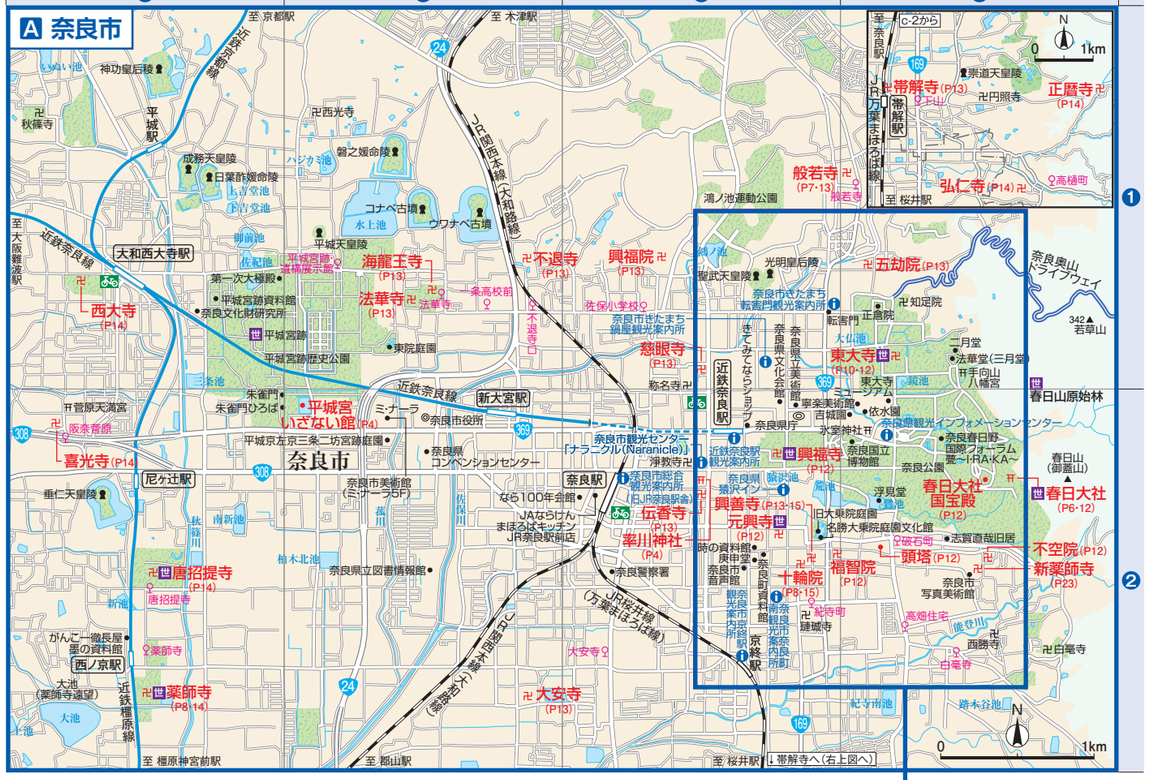
国宝・西塔を借景とする庭園が見事で、水琴窟（すいきんくつ）や美しい紅葉でも知られます。その本堂で万病消滅・富貴自在の仏様である本尊・十一面観音菩薩、聖観音菩薩、千手観音菩薩などが特別公開されます。

三観音（重文）　写真：當麻寺 西南院

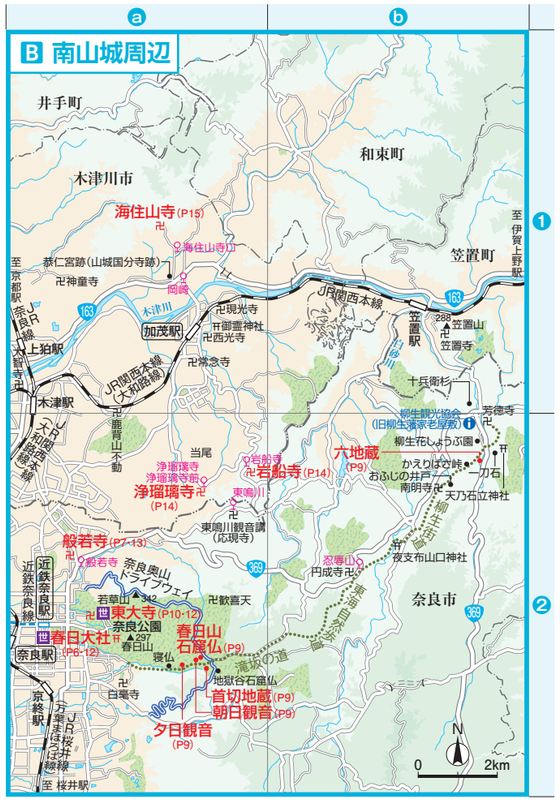
所 葛城市當麻1263
☎ 0745-48-2202
行 近鉄当麻寺駅から徒歩約15分
HP http://taimadera-sainain.or.jp/

お出かけの際は事前に最新情報をご確認ください。拝観料その他詳細は各社寺にお問い合わせください。（掲載内容は2020年8月現在のものです）

A 奈良市

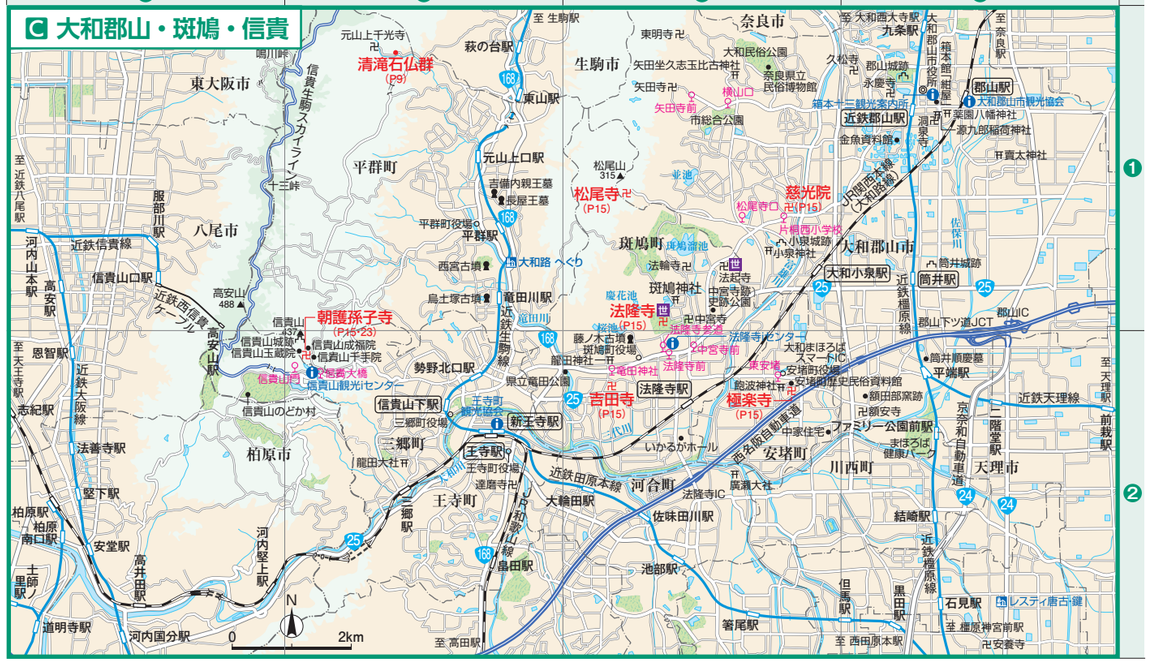


B 南山城周辺



奈良公園周辺拡大図

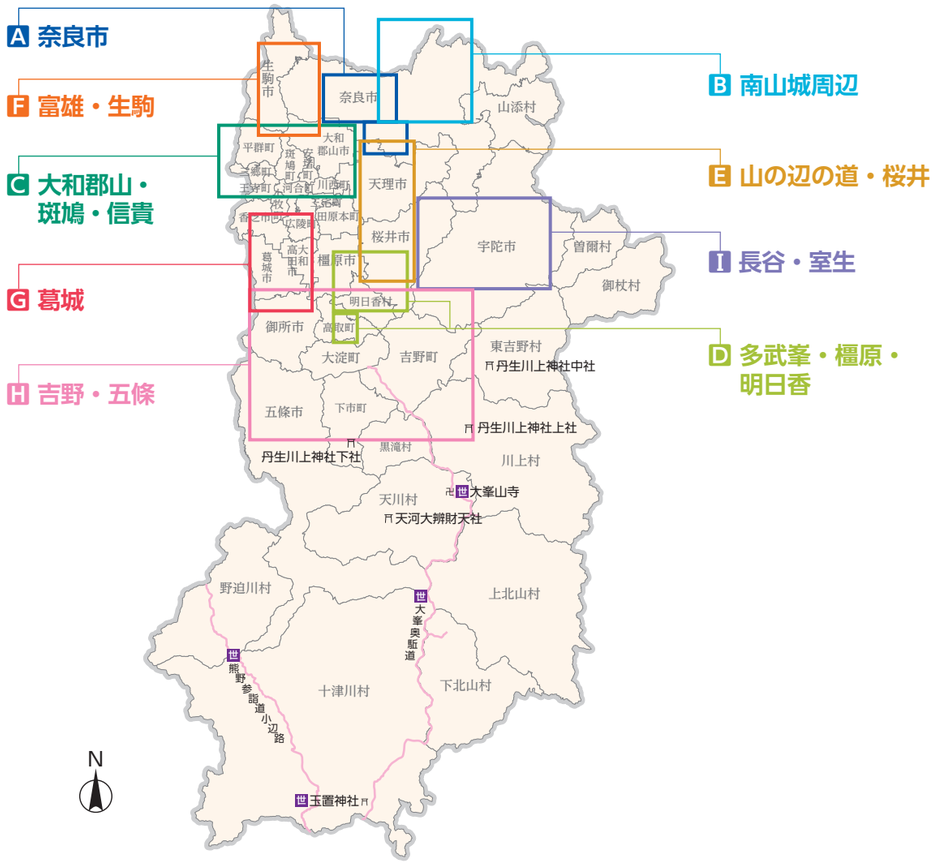
C 大和郡山・斑鳩・信貴



D 多武峯・橿原・明日香

E 山の辺の道・桜井

I 長谷・室生
奈良市
桜井市
宇陀市
東吉野村
室生口大野駅
室生口大野寺
室生ダム
室生寺(P5・17・23)
室生寺
長谷寺(P5・7・15・17)
長谷寺駅
初瀬ダム
初瀬観光センター
法起院(P17)
十二柱神社(P8)
榛原駅
榛原トンネル
宇陀市観光案内所
うだ観処
宇陀市役所
壷坂神社(P3・11)
近鉄大阪線
名張駅
三本松駅
宇陀路 室生
花の郷滝谷花しょうぶ園
大平山
佛隆寺・室生寺への石標
三部岳
伊那佐山
石割峠
桷坂トンネル
大宇陀温泉あきのゆ
0
2km


A 奈良市
F 富雄・生駒
C 大和郡山・斑鳩・信貴
G 葛城
H 吉野・五條
B 南山城周辺
E 山の辺の道・桜井
I 長谷・室生
D 多武峯・橿原・明日香
生駒市
奈良市
山添村
平群町
大和郡山市
天理市
桜井市
宇陀市
曽爾村
御杖村
橿原市
御所市
高取町
大淀町
吉野町
東吉野村
五條市
下市町
黒滝村
川上村
天川村
野迫川村
上北山村
十津川村
下北山村
丹生川上神社下社
丹生川上神社中社
丹生川上神社上社
大峯山寺
天河大辨財天社
玉置神社
N

G 葛城
大坂山口神社(P3)
二上駅
二上山駅
二上神社口駅
香芝駅
香芝市
五位堂駅
広陵町
ふたかみパーク當麻
石光寺(P17)
中之坊(P2・16)
奥院(P17)
西南院(P16)
當麻寺
当麻寺駅
磐城駅
大和高田市
大和高田駅
高田駅
尺土駅
高田市駅
大和高田バイパス
大和新庄駅
浮孔駅
葛城市
葛城IC
道の駅かつらぎ
県社会教育センター
屋敷山古墳
柿本神社
葛城市役所
新庄庁舎
葛城市歴史博物館
忍海駅
笛吹神社
葛城高原
葛城山ロープウェイ
葛城山 959
九品寺
御所市
御所駅
近鉄御所駅
御所市観光案内所
鴨都波神社
吉祥草寺(P5)
玉手駅
0
1km
N

F 富雄・生駒
生駒市
四條畷市
奈良市
学研北生駒駅
学研奈良登美ヶ丘駅
近鉄けいはんな線
白庭台駅
長弓寺 法華院
長弓寺 円生院
清滝街道
生駒市総合公園
大池
飛鳥CC
富雄駅
学園前駅
近鉄奈良線
大和文華館
中野美術館
富雄IC
阪奈道路
奈良国際GC
生駒駅
東生駒駅
鳥居前駅
宝山寺駅
宝山寺
梅屋敷駅
霞ヶ丘駅
生駒山上駅
一分駅
壱分ランプ
阪奈トンネル
第二阪奈道路
霊山寺(P16)
暗越奈良街道
南生駒駅
むかいやま公園
萩の台駅
清滝石仏群(P9)
平群町
東山駅
至 王寺駅
0
1km
N

H 吉野・五條
飛鳥駅
飛鳥観光協会
道の駅 飛鳥
石舞台古墳(P8)
都塚古墳
高松塚古墳
キトラ古墳壁画体験館
飛鳥川上坐宇須多伎比賣命神社
桜井市
明日香村
宇陀市
近鉄御所駅
御所駅
玉手駅
葛城山ロープウェイ
九品寺
葛城高丘宮跡
葛城一言主神社
御所の郷
宮山古墳
京奈和自動車道
掖上駅
壺阪山駅
高取町役場
高取町観光協会
夢庵
市尾駅
高取町
高取城跡
584
吉野町
竜門岳
904
壺阪寺(P16)
壺阪寺前
新芦原トンネル
吉野口駅
葛駅
巨勢寺塔跡
葛木神社
橋本院
極楽寺
蜘蛛窟
高天彦神社
船宿寺
水泥古墳
高鴨神社
葛城の道歴史文化館
葛城古道
金剛山ロープウェイ
吉野路 大淀iセンター
葛駅
大淀町
大淀町役場
大淀町文化会館 あらかしホール
世尊寺
大和上市駅
吉野町役場
蛭山樹園
津風呂ダム
津風呂湖乗船場
興禅寺
大阿太駅
下市口駅
越部駅
六田駅
吉野神宮
吉野神宮駅
千本口駅
吉野山駅
吉野駅
吉野町観光案内所
吉野山ロープウェイ
吉野山ビジターセンター
金峯山寺(P15・L2)
如意輪寺(P17)
如意輪寺口
大日寺
竹林院
櫻本坊(P17)
吉野水分神社
吉水神社
後醍醐天皇陵
桜木神社
吉野歴史資料館
浄見原神社
岩神神社(P9)
匠の泉
川上村林業総合センター
大滝ダム
もくもく館
東吉野村
川上村
川上村役場
杉の湯 川上団
丹生川上神社上社
黒滝村
地蔵トンネル
西行庵
百貝岳
鳳閣寺
永全寺
広橋梅林
北宇智駅
JR和歌山線
五条駅
草谷寺
市立五條文化博物館
御霊神社
南阿田大塚山古墳
阿陀比売神社
源龍寺
笠子神社
願行寺
下市観光文化センター
下市町役場
下市町
岡峯古墳
龍洞院
五條市
樂山寺(P17)
樂山寺口
JR五条駅前観光案内所
金剛寺(P17)
五條市観光交流センター
櫻井寺
五條市役所
大和二見駅
一夜の大根
奈良県果樹・薬草研究センター「柿博物館」
0
2km
N

奈良うまし冬めぐり

冬だけのとっておきの奈良へ　2020年12月～2021年3月

新薬師寺（しんやくしじ）

MAP P18 A d-2 奈良市

国宝の本堂で早朝特別拝観・通常非公開の香薬師堂特別公開

早朝の静かな御堂で国宝の薬師如来坐像及び十二神将立像を特別参拝。通常非公開の裸形の「おたま地蔵」の特別拝観も。

開催日 12/19(土)、12/20(日)、1/23(土)、1/24(日)、2/13(土)、2/14(日)
7:30～（所要時間：約60分）
参加費 ￥1,500　最少催行人数 1名

薬師如来と十二神将

大神神社（おおみわじんじゃ）

MAP P19 E a-2 桜井市

三ツ鳥居特別参拝と神職の案内による宝物収蔵庫拝観

重要文化財の三ツ鳥居（重文）の間近、御垣内にて特別参拝後、境内を神職がご案内。

開催日 2/14(日)、2/20(土)、2/21(日)、2/28(日)、3/6(土)、3/7(日)、3/14(日)
10:30～/13:30～（所要時間：約90分）
参加費 ￥1,000　最少催行人数 3名

拝殿と巳の神杉

信貴山朝護孫子寺（しきさん ちょうごそんしじ）

MAP P19 C b-2 平群町

聖徳太子1400年ご遠忌特別拝観

（経蔵特別公開と開山堂・霊宝館拝観）（太子御遠忌特別御朱印付き）

僧侶のご案内で境内を拝観。通常非公開の経蔵の特別拝観も。参加者には『うまし冬めぐり』限定の特別御朱印を授与。

開催日 3/13(土)、3/14(日)、3/20(土)、3/21(日)、3/27(土)、3/28(日)
13:00～（所要時間：約90分）
参加費 ￥2,500　最少催行人数 5名

大寅から望む本堂

石上神宮（いそのかみじんぐう）

MAP P19 E a-1 天理市

国宝の拝殿にて特別参拝と禁足地の特別拝観

通常昇殿できない拝殿（国宝）で参拝後、神職のご案内で大神様の鎮座地である禁足地を特別に外側から拝観。

開催日 12/1(火)～3/28(日)
（除外日あり。ウェブサイトかお電話でご確認ください。）
10:00～/13:00～（所要時間：約60分）
参加費 ￥1,500　最少催行人数 1名

朝拝

室生寺（むろうじ）

MAP P21 I d-1 宇陀市

境内を僧侶がご案内　今秋開館の寶物殿を自由拝観（記念品付き）

写真家土門拳が愛した老舗旅館で冬の特別メニューをいただく

女人高野・室生寺の境内を僧侶がご案内。開館したばかりの寶物殿は自由拝観。ランチは門前・老舗旅館橋本屋で。

開催日 12/5(土)、12/12(土)、12/19(土)、12/26(土)、1/9(土)、1/16(土)、1/23(土)、1/30(土)、2/6(土)、2/13(土)、2/20(土)、2/27(土)、3/6(土)
11:00～（所要時間：約120分）
参加費 ￥6,000　最少催行人数 5名

五重塔

吉野神宮（よしのじんぐう）

MAP P20 H c-2 吉野町

オリジナル願い札づくり

吉野ひのきのお札にご自身の願いごとを書き、神様の印（おしるし）をいただき、お祓いを受けて、オリジナルの願い札をつくりましょう。

開催日 12/1(火)～3/26(金)
（除外日あり。ウェブサイトかお電話でご確認ください。）
10:30～/13:30～（所要時間：約90分）
参加費 ￥3,500　最少催行人数 1名

願い札

お申し込み・お問い合わせ

他にも特別企画が盛りだくさん!

ご参加には**事前にお申し込み**が必要です。（開催日の4日前までにお申し込みください。）
最少催行人数に満たない場合、開催日の14日前に中止とする場合があります。
※全コース、神職や僧侶のご案内付き。　※行事等により催行中止になる場合があります。
※新型コロナウイルス感染症の影響により、スケジュール・内容等変更になる可能性があります。あらかじめご了承ください。

TEL：0742-81-8680 9:00 ～ 17:00（土日祝・年末年始除く）うまし奈良めぐり実行委員会事務局

詳しくは、うまし奈良めぐり　検索

『祈りの回廊』読者プレゼント!!

応募期間 2020年10月1日～2021年3月31日まで

皆様のご感想・ご意見を今後の参考にさせていただくために本誌アンケートへのご協力をお願いします。アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で「祈りの回廊 オリジナル一筆箋」をプレゼント!!

【動作条件】●ご利用端末に応じて以下のブラウザでアクセスください。『iOS（iPhone iPad）=Safari』『Android=Chrome』●リーダーアプリをご利用の場合はアプリ内ブラウザを選択せず、上記ブラウザをご利用ください。●上記ブラウザを使用しても正常に動作しない場合は、『シークレットモード/プライベートモードを解除』『cookieとJava scriptをオン』の状態でアクセスいただきますようお願いします。

アンケートはこちら

https://qlear.cloud/kspkk/inori_present

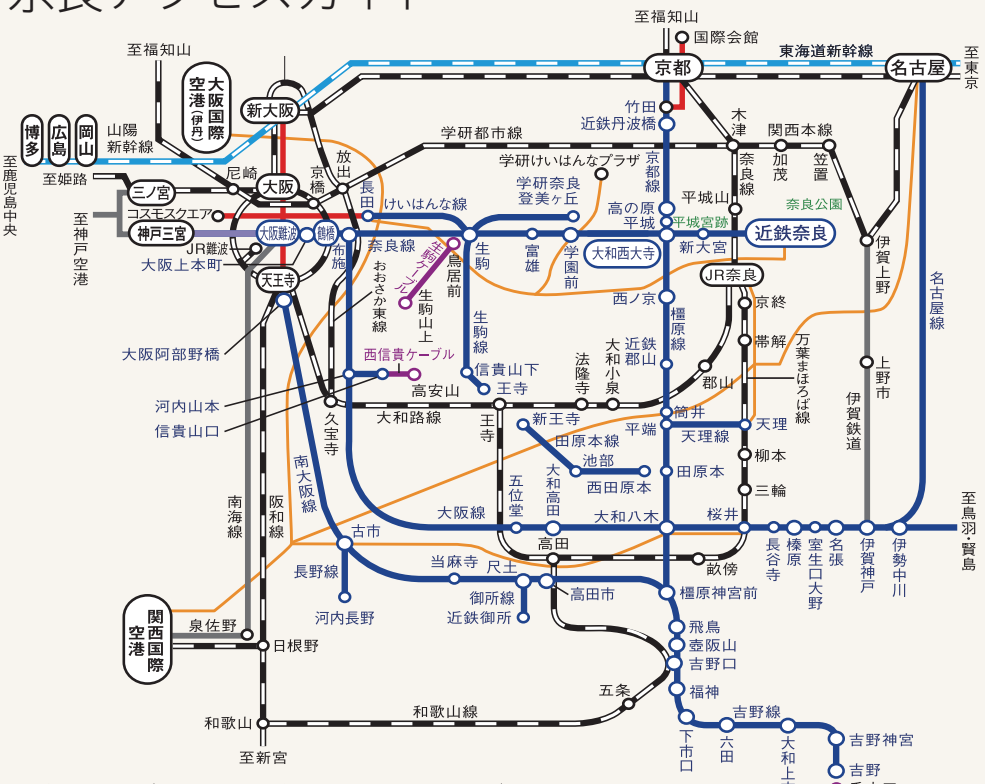
抽選で 祈りの回廊 オリジナル一筆箋 プレゼント!!

※画像はイメージです。実際の商品とは異なる場合があります。

秘宝・秘仏特別開帳カレンダー（2020年9月～2021年3月）

エリア	社寺名	掲載頁/地図	主な特別開帳内容	9月	10月	11月	12月	2021年1月	2月	3月
A 奈良市	春日大社 国宝殿	P12 A d-2	芸能の美・杜園の心 ―奈良近代彫刻の名匠、森川杜園生誕200年にちなんで―（国宝など）				10/1～12/13 ※11/5展示替のため休館			
	興福寺	P12 A c-2	特別公開2020 ―中金堂再開―			10/24～11/23				
	元興寺	P12 A c-2	秋季特別展「もの・わざ・おもい ―復元模造の世界―」			10/24～11/15				
	福智院	P12 A c-2	宝冠十一面観音菩薩立像	10/17～10/23		11/1～11/7			3/17～3/23	
	頭塔	P12 A d-2	史跡頭塔、浮彫石仏など（重文）				10月下旬～11月上旬 ※正倉院展の期間にあわせて実施予定			
	不空院	P12 A d-2	本尊・不空羂索観音菩薩坐像など（重文など）		10/17	10/25～11/15				
	東大寺	P12 A d-1	①僧形八幡神坐像〈国宝〉《勧進所八幡殿》、五劫思惟阿弥陀如来坐像（重文）《勧進所阿弥陀堂》		10/5 ※転害会 ※秘仏はいずれも法要終了後に特別開帳されます。					
			②良弁僧正坐像〈国宝〉《開山堂》、執金剛神立像〈国宝〉《法華堂》、重源上人坐像〈国宝〉、阿弥陀如来立像（重文）、愛染明王坐像（重文）《俊乗堂》				12/16 ※良弁忌 ※秘仏はいずれも法要終了後に特別開帳されます。			
	五劫院	P13 A d-1	涅槃図・五劫思惟阿弥陀仏坐像（重文）					2/12～2/18		
	般若寺	P13 A d-1	白鳳秘仏寺宝特別公開（重文など）			9/20～11/11				
	帯解寺	P13 A d-1	秘仏・秘宝特別公開（重文など）			11/5～11/12			3/6～3/13	
	大安寺	P13 A b-2	①本尊・十一面観音菩薩立像（重文）				10/1～11/30			
			②秘仏・馬頭観音菩薩立像（重文）						3/1～3/31	
	興福院	P13 A c-1	静寂に包まれた佐保路の尼寺 ―阿弥陀三尊像と小堀遠州ゆかりの庭園をたずねて―（重文など）				11/21～11/23			
	不退寺	P13 A b-1	在原業平朝臣画像、寺宝特別展				10/1～11/30		3/1～5/31	
	海龍王寺	P13 A b-1	十一面観音菩薩立像、寺宝展（重文など）			10/25～11/10			3/23～4/7（予定）	
	法華寺	P13 A b-1	①十一面観音菩薩立像（国宝など）			10/25～11/10			3/20～4/7	
			②絹本着色阿弥陀三尊および童子像（慈光殿）〈国宝など〉			10/25～11/10				
	興善寺	P13 A c-2	①観経曼陀羅拝観		9/20～9/25 ※要予約				3/18～3/24 ※要予約	
			②涅槃図拝観				2/1～2/15 ※要予約			
	慈眼寺	P13 A c-1	聖観世音菩薩				2/3 ※初午、3/11 ※二の午			
	伝香寺	P13 A c-2	本尊・釈迦如来坐像、南無仏太子像、地蔵菩薩立像納入品、筒井家関連書状						3/12	
	喜光寺	P14 A a-2	弁天堂神影　宇賀神（秘仏）					1/1～1/15		
	西大寺	P14 A a-1	愛染明王坐像（愛染堂）、聚宝館特別公開（重文など）	10/25～11/15					1/15～2/4	
	薬師寺	P14 A a-2	①西塔初層内陣 釈迦四相像 特別公開（重文など）		9/16～11/30			1/1～1/8		
			②食堂特別公開		9/16～11/30			1/1～1/8		
			③玄奘三蔵院伽藍 大唐西域壁画殿 特別公開		9/16～11/30			1/1～1/8		
			④吉祥天女画像特別公開（国宝・平成の吉祥天）〈国宝〉	1/1～1/3［国宝］、1/4～1/15［平成の吉祥天］						
	正暦寺	P14 A d-1	秘仏・薬師如来倚像（重文など）	11/3～12/6 ※本堂にて			12/22 ※瑠璃殿（収蔵庫にて）			
	弘仁寺	P14 A d-1	①秘仏本尊・虚空蔵菩薩像				11/1～11/30			
			②唐草文三足双耳香炉（奈良市指定文化財）				11/1～11/30			
	唐招提寺	P14 A a-2	金亀舎利塔〈国宝〉、釈迦如来立像（重文）など《礼堂》			10/21～10/23				
B 南山城周辺	浄瑠璃寺	P14 E a-2	①秘仏・吉祥天女立像（重文）		10/1～11/30			1/1～1/15		
			②三重塔初層開扉・薬師如来坐像（国宝）（重文）※ただし好天の日に限る	毎月8日		10/31～11/8		1/1～1/3、1/8～1/10		
			③秘仏・大日如来坐像本堂特別安置	～2021.6/20						
	岩船寺	P14 E a-2	①秘宝秘仏特別公開				10/1～11/30			
			②三重塔初層特別開扉（重文）※雨天・荒天時は塔開扉中止の場合あり				10月11月の毎週土日祝			
	海住山寺	P15 E a-1	五重塔特別開扉、寺宝特別公開（国宝など）※荒天時は塔開扉中止の場合あり			10/31～11/8				
C 大和郡山 斑鳩 信貴	法隆寺	P15 C c-1	①法隆寺秘宝展（重文など）				9/22～11/30			
			②夢殿秘仏・救世観音菩薩立像〈国宝〉				10/22～11/22			
			③上御堂（釈迦三尊像）〈国宝など〉			11/1～11/3				
	松尾寺	P15 C c-1	①秋の寺宝展（舎人親王像など）（重文など）			～11/10				
			②秘仏本尊・厄除観音（厄除千手千眼観世音菩薩立像）			11/3				
	朝護孫子寺	P15 C b-2	①信貴山縁起絵巻特別公開「飛倉の巻」〈国宝〉				10/31～11/15			
			②毘沙門天王秘仏御開扉				1/1～1/11			2/1～2/28
	吉田寺	P15 C c-2	多宝塔（重文）初層・大日如来坐像	9/1※放生会9/2※追悼会		11/1～11/3				
	慈光院	P15 C c-1	本堂天井鳴き龍					1/1～1/3		
D 多武峯 橿原 明日香	聖林寺	P15 D b-1	①秘宝・マンダラ展				11/1～11/30			
			②秘仏・宝蔵天、秘仏・弁財天					1/1～1/3		
	談山神社	P15 D b-2	①秋の社宝特別展"京都からお帰り"「京博寄託のたから」				10/9～12/6（ライトアップ：11/13～11/29）			
			②新春特別公開			1/1～2/28（予定）				
	おふさ観音	P16 D a-1	秘宝・生き人形				10/19～11/30			
	岡寺	P16 D b-2	①本堂内々陣お扉特別開扉（重文）				10/10～12/6			
			②三重宝塔初層壁画扉絵特別公開			10/18				
	壺阪寺（南法華寺）	P16 D a-2	①観音大めがねくぐり				10/10～12/18			
			②壺阪観音お身拭い特別結縁参拝				10/10～12/6			
			③納め観音 秘仏・子島荒神像				12/18			
E 山の辺の道・桜井	安倍文殊院	P16 E a-2	金閣浮御堂霊宝館 寺宝展〈国宝など〉	秋：9/1～11/30、冬：12/1～2021.2/28						
	長岳寺	P16 E a-1	大地獄絵開帳				10/23～11/30			
F 宮雄・生駒	霊山寺	P16 F b-2	①薬師三尊像、秋薔薇と秘仏宝物展（重文）	10/23～11/8				1/1～1/3 ※正月は薬師三尊像のみ		
			②三重塔初層特別開扉（重文）			11/3				
G 葛城	當麻寺 西南院	P16 G a-1	西南院本堂特別開帳（重文など）				11/21～11/30			
	當麻寺 中之坊	P16 G a-1	①書院特別公開（重文）				11/13～11/30			
			②布袋尊百童子屏風				1/1～2/28			
			③導き観音　（平安時代・重要美術品）	毎月16日						
	當麻寺 奥院	P17 G a-1	①綴織 當麻曼陀羅 平成本特別公開			11/1～11/10				
			②大方丈襖絵特別公開				11/14～11/29			
			③本尊・法然上人坐像（重文など）							2/24
	石光寺	P17 G a-1	弥勒如来秘仏（木造）、日本最古の石仏開帳						1/1～1/31	
H 吉野 五條	金峯山寺	P17 H c-2	日本最大 秘仏本尊金剛蔵王大権現 特別ご開帳（重文）				10/16～11/30			
	如意輪寺	P17 H c-2	後醍醐天皇御霊殿			11/2～11/18				
	櫻本坊	P17 H c-2	天武天皇御神像 特別ご開帳			11/7～11/15				
	榮山寺	P17 H a-2	①本尊・薬師如来坐像（重文）			10/25～11/29				
			②八角円堂内内陣装飾画特別拝観〈国宝など〉			10/25～11/29				
	金剛寺	P17 H a-2	星供曼荼羅、星祭り九曜星本尊						2/2	
I 長谷 室生	長谷寺	P17 I a-1	本尊大観音尊像（十一面観世音菩薩立像）特別拝観（重文）				10/10～12/6			
	室生寺	P17 I d-1	室生寺寶物殿〈国宝など〉		9/5～開館					
	法起院	P17 I a-1	長谷庚申　秘仏青面金剛像			11/12～11/15				

奈良アクセスガイド



※吉野山ロープウェイの運行情報や時刻表は下記にてご確認ください
（お問い合わせ：吉野大峯ケーブル自動車㈱　☎0746-39-0010
http://www.yokb315.co.jp/）

交通のお問い合わせ

JR 西日本お客様センター
☎ 0570-00-2486（京阪神地区）

近鉄電車テレフォンセンター
☎ 050-3536-3957

奈良交通お客様サービスセンター
☎ 0742-20-3100

奈良交通総合予約センター
（高速・リムジンバス等）
☎ 0742-22-5110

奈良県タクシー協会
☎ 0743-57-0073

- 新幹線
- JR線
- 近鉄線
- 奈良交通高速・リムジンバス
- 阪神線
- その他私鉄線
- その他地下鉄線
- ロープウェイ・ケーブル

● JR 西日本　奈良へのおトクなきっぷ情報

e5489 JR西日本ネット予約

JRのきっぷは駅に行かずにネットで予約。
［e5489が、ますますベンリに。］

- ●ますます選べるおトクなきっぷ！
- ●チケットレスサービスがさらにベンリに！
- ●見やすい画面でスムーズ予約！
- ●予約時間が23:30まで延長！
- ●女性専用席の予約が可能に！
- ●コンビニなどで現金払いが可能に！

さらに J-WEST カードにご入会いただくと、eきっぷなど会員限定の割引きっぷをご利用いただけます！

e5489 でご購入のお客様は、「奈良満喫フリーきっぷ」をお買い求めいただけます。なお、「奈良満喫フリーきっぷ」には大阪・京都・奈良の自由周遊区間が設定されておりますので、「e5489」の乗車券は京都駅または新大阪駅までお求めください。

列車時刻やおトクなきっぷなどのご利用条件等、詳しくはJR西日本の主な駅のパンフレットまたは JRおでかけネット 検索 でご確認ください。

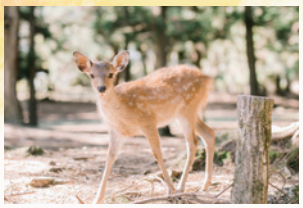
時刻・運賃・商品情報などのお問い合わせは
JR西日本お客様センター TEL.0570-00-2486
京阪神地区（6:00～23:00）年中無休（固定電話からは市内通話料でご利用可能です。）

JR西日本

●近鉄のおトクな情報

わたしは、奈良派。

知っているつもりで訪ねると、
知らない物語がいっぱい。
奈良の旬なおでかけ情報を
お届けします。



公式インスタグラム
@watashiha_naraha_official

公式 Webサイト

お得なきっぷ情報
奈良世界遺産フリーきっぷ
近鉄電車往復乗車券とフリー区間の近鉄電車・奈良交通バスが自由に乗降できるきっぷを割引セット。

近鉄電車テレフォンセンター
050-3536-3957 / 8:00-21:00 / 年中無休

近鉄 きっぷ情報 検索　近鉄

大和路秀麗八十八面観音巡礼公式ホームページが開設されました

「八十八面観音巡礼」は仏教文化が深く息づく奈良の八寺院を訪れ、麗しい十一面観音を巡礼する旅。
人生における全ての厄災から救われる巡礼として信仰を集めています。
公式ホームページでは八十八面観音様を無理なく巡礼いただけるモデルコースや八十八面特別ご朱印のいただき方も詳しく解説。
「朝一番の境内ぐるり 360°」では八ヶ寺の清々しい空気感が伝わってまいります。

公式ホームページ **http://yamatoji88.jp/**　八十八面観音巡礼 検索

祈りの回廊 http://inori.nara-kankou.or.jp/　奈良県観光［公式サイト］あをによし なら旅ネット http://yamatoji.nara-kankou.or.jp/

奈良県観光局 観光プロモーション課　〒630-8501 奈良市登大路町30番地　TEL:0742-27-8482　FAX:0742-27-3510

［表紙写真］吉野山花矢倉から　写真：西岡　潔

※当誌面掲載の写真・図版・記事等の無断複写・転載を禁じます。　※本記載内容は2020年8月現在のものであり、内容が変更となる場合があります。